

**「浦安市子ども・子育て支援総合計画(第6章)」掲載事業  
～平成27年度進捗状況・平成28年度事業予定と今後の課題～  
中間報告(平成27年4月～12月実績)**

＜実施状況・評価等の見方＞

事業番号	96	事業名	子育て支援パスポート事業	担当課	こども課	
重 基						
計画内容	<p>重：重点施策で取り組む事業 基：少子化対策基金対象事業</p>					
表彰件数	平成25年実績	—	平成28年目標	70件	平成31年目標	90件
実施状況	<p>平成22年4月1日より子育て支援パスポート事業を開始し、平成27年度は、94店舗の事業所に協賛いただいています。また、新規店舗の募集や継続的に協賛いただいている店舗にH27年12月末の実績値</p>					
実績値	表彰件数	94店舗	予算額	1,610千円	決算額	
評価	A	毎年、協賛店が増加しており、事業の周知や子育て家庭のパスポートの利用が進んでいます。				
平成28年度事業予定と今後の課題	<p>子育て支援パスポート事業については、平成22年度から市独自事業として開始し、年々着実に協賛店舗を増やしており、また、平成25年度からは千葉県「子育て応援！チーバス事業」が開始され、本市では県民対象の子育て支援パスポートの2種類を利用することが可能となっています。平成26年度から子育て支援パスポートの2種類を利用するとともに、協賛5年大や利用促進を図る試みを行っています。</p> <p>次年度の事業予定や課題を記載</p>					

薄緑色になっている箇所は、H27年3月に策定した「子ども・子育て支援総合計画」に掲載されている計画内容

H27年度の中間実施状況(H27.4月～12月時点)

実施状況を踏まえ、A～C評価と効果内容を記載。  
A:計画以上、または計画どおり進んでいる  
B:計画より若干遅れている  
C:計画より大幅に遅れている

## 1 安心して産み育てられる環境づくり

### (1) 妊娠期からの切れ目のない支援体制の構築

事業番号	1	事業名	子育てケアプラン作成等事業	担当課	こども課		
重 基 事							
計画内容	<p>面談や電話で子育てに悩む保護者の相談を行うとともに、関係機関や育児制度、サービスの紹介を行います。 また、子育て世帯の悩みや不安感、孤独感を軽減し、妊娠・出産・子育てにわたる切れ目のない支援を行うため、特に行政とのつながりが希薄になる妊娠から1歳6か月健診までの時期を中心に、子育てケアマネジャーと保健師が子どもの成長に応じた「子育てケアプラン」を作成します。</p>						
	相談件数	平成25年実績	455件	平成29年目標	541件	平成31年目標	585件
	子育てケアプラン作成件数	平成25年実績	—	平成29年目標	4,227件	平成31年目標	4,205件
平成27年度実施状況と評価	実施状況	<p>子育て・家族支援者養成講座で養成した子育てケアマネジャー14名が、子育て支援センター内の子育て相談室及び第三庁舎入口の子育て総合窓口で子育て相談を行いました。 また、平成26年10月から開始した妊婦を対象とした「子育てケアプラン」の作成を引き続き行うとともに、平成27年4月より第三庁舎2階に子育て応援ルームを設置し、出産前後・子どもが1歳になる時期のケアプラン作成を開始しました。</p>					
	実績値	相談件数	271件	予算額	31,613千円	決算額	
		子育てケアプラン作成件数	2,492件				
	評価	A	<p>育児の悩みや制度・サービスに関する疑問など、子育てに関する多様な相談を行い、見守りが必要な方には専門的な機関につないでいます。また、行政との繋がりが薄い時期である妊娠期～子どもが1歳6か月頃に子育てケアプランを基本3回作成し、切れ目のない支援を行うことで市民の安心感を向上しています。</p>				
平成28年度事業予定と今後の課題	<p>引き続き、子育て相談室・子育て総合窓口での相談や子育てケアプランの作成を行います。子育てケアプラン業務が増えたことにより、相談やケアプランを作成する子育てケアマネジャーの人数が足りないので、質を担保しながら養成し増やしていくことが課題です。</p>						

事業番号	2	事業名	子育て支援ギフト事業	担当課	こども課		
基							
計画内容	<p>出産前後と子どもが1歳の誕生日を迎える時期に子育てケアプランを作成した子育て世帯を対象に、育児パッケージ「こんにちはあかちゃんギフト」や子育て支援サービス等に利用できるバウチャー券「ファーストアニバーサリーチケット」等を贈呈します。</p>						
	こんにちはあかちゃんギフト贈呈件数	平成25年実績	—	平成29年目標	1,500件	平成31年目標	1,500件
	子育て支援チケット贈呈件数	平成25年実績	—	平成29年目標	3,000件	平成31年目標	3,000件
平成27年度実施状況と評価	実施状況	<p>出産前後の時期に子育てケアプランを作成した方には、マザーズバックや衣類の詰め合わせである「こんにちは あかちゃんギフト」と市内協賛店で利用できる金券「こんにちは あかちゃんチケット」を、1歳のお誕生日前後にケアプランを作成した保護者には、「ファーストアニバーサリーチケット」を贈りました。 また、「こんにちは あかちゃんギフト」は年度ごとにデザインを変えているため、平成28年度版マザーズバックや衣類の企画・制作を行いました。さらに子育て支援チケット(こんにちは あかちゃんチケット・ファーストアニバーサリーチケット)の協賛店の新規募集や既存店舗への継続・サービス内容の確認等を行いました。</p>					
	実績値	こんにちはあかちゃんギフト贈呈件数	893件	予算額	109,499千円	決算額	
		子育て支援チケット贈呈件数	1491件				
評価	A	子育て支援ギフトを贈った市民から、概ね満足の声をいただいています。					
平成28年度事業予定と今後の課題	<p>引き続き、子育てケアプランを作成した方にそれぞれの時期に合わせた子育て支援ギフトを贈ります。 利用者の利便性を向上するため、子育て支援チケットの協賛店を新規開拓し増やしていくことが課題です。</p>						

事業番号	3	事業名	子育てケアマネジャー養成事業	担当課	こども課		
基							
計画内容	<p>子育て・家族支援者養成講座2級認定者から子育て相談や子育てケアプランの作成を担う子育てケアマネジャーの養成を実施し、人員を拡充します。</p>						
	子育てケアマネジャー数	平成25年実績	8人	平成29年目標	16人	平成31年目標	16人
平成27年度実施状況と評価	実施状況	<p>妊娠・出産・子育てにわたる切れ目のない支援を目指し、子育て世代をサポートする担い手として、「子育て・家族支援者養成講座」の2級を修了された方を対象にこれまで、子育てケアマネジャー養成集中講義を行っています。 また、集中講義の実施は、平成28年2月から行う予定です。</p>					
	実績値	子育てケアマネジャー数	14人	予算額	1,080千円	決算額	
評価	A	継続的な支援を実施するための体制づくりを構築してきており、現状で人員も整ってきています。今後も支援体制の強化のため養成事業の取り組みを行っていきます。					
平成28年度事業予定と今後の課題	<p>子育てケアマネジャー養成集中講義は、平成19年度から開始してきており、平成27年度までにおいては、14名での支援体制を構築することができました。しかし、現在の子育てケアマネジャーの中で、この3月末で退職者が2名ですが、平成27年度の集中講義で5名の受講生を予定しておりますので、平成28年度4月からは、17名体制で実施が可能となります。 また、業務にあたっては、毎月の子育てケアプランの作成や子育て相談が増加してきており、担い手としての子育てケアマネジャーの現状を考え、平成28年度も子育てケアマネジャー養成集中講義を行う予定です。</p>						

事業番号	4	事業名	育児相談の充実	担当課	健康増進課		
計画内容	乳幼児を対象に身体計測、発育・発達の確認、育児相談を行い、発育・発達の遅れや疾病を早期発見するとともに、子育てに関する不安や悩みの軽減を図ります。また、支援が必要な方に対して関係各課と連携しながら継続した支援を行います。						
	延べ相談者数	平成25年実績	1,371人	平成29年目標	1,300人	平成31年目標	1,300人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	育児相談事業：未就学児とその保護者が対象で、毎月1日と半日、合計1.5日、健康センターで開催。保健師、栄養士、歯科衛生士による、こどもの育児や健康、栄養、歯に関する相談（身体計測あり）や平日、電話、面接での育児相談も受け付け、育児のノウハウや不安や悩みの軽減を図っています。また支援が必要な方に対して、同事業での継続フォローや関係各課、医療機関等と連携しながら支援しています。					
	実績値	延べ相談者数	1,102人	予算額	787千円	決算額	
		評価	A	広報、ホームページ等で対象者へ周知を行っており、予定通り事業開催できています。			
平成28年度 事業予定と 今後の課題	育児相談事業は、地域での子育て支援の相談場所が充実してきていることから、毎年状況を見ながら、少しずつ開催の会場や内容を変更しております。平成27年度より育児相談事業の会場を変更しましたが、平成並みの参加者数となっております。相談しやすく、そして会場や内容などについては柔軟な事業の運営をし、関係機関と連携していきます。						

事業番号	5	事業名	地域子育て支援拠点の充実	担当課	保育幼稚園課		
事 計画内容	地域における子育て支援の拠点として、子育て支援センター、地域子育て支援センターやつどいの広場の充実を図ります。						
	延べ利用者数	平成25年実績	85,564人	平成29年目標	85,092人	平成31年目標	83,236人
	箇所数	平成25年実績	11施設	平成29年目標	11施設	平成31年目標	11施設
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	市内に9ヶ所ある地域子育て支援センターの運営を、2か所は直営で、7か所は民間で行っています。平成27年12月末現在の同事業の利用者数は、延べ58,400人で、各支援センター別の延べ利用者数は、浦安市子育て支援センター25,099人・高洲保育園子育て支援センター5,615人（直営）、海園の街保育園子育て支援センター3,576人、浦安駅前保育園子育て支援センター3,976人、入船北保育園子育て支援センター4,829人、しおかぜ保育園子育て支援センター2,511人、ポピンズナーサリースクール新浦安子育て支援センター4,683人、弁天保育園子育て支援センター4,850人、愛和元町保育園子育て支援センター3,261人となっております。また、市内に2ヶ所あるつどいの広場では、堀江で8,093人、明海で4,203人の利用となっております。					
	実績値	延べ利用者数	70,696人	予算額	24,037千円	決算額	
		箇所数	11か所				
評価	A	支援センターごとにいろいろな事業、イベントを行っています。市内に9ヶ所あることで、利用者は場所を選択して、いろいろな支援センターを利用しています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き11ヶ所で開催することで、地域の子育て拠点として、今後も地域支援活動を実施していきます。						

事業番号	6	事業名	子育てポータルサイト「MY浦安」の充実	担当課	こども課		
重 基 事 計画内容	行政・民間の子育て支援に関する情報を一元化し、妊娠中、子育て中の保護者にとって利用しやすく、分かりやすい子育てポータルサイトを運営し、内容や機能を充実するとともに、地域の子育て支援活動を活性化します。						
	サイト内容 機能の充実	平成25年実績	—	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	平成26年10月より民間と行政の子育て支援情報の一元化を目的に行い、子育て専門のポータルサイト「MY浦安」を開設しており、年齢別や目的別ガイド、イベントカレンダーなど、市民が利用しやすいサイトを提供しています。 これまでの利用実績(12月末現在)は、アクセス数208,372件、ページ閲覧数533,749件の実績となっています。					
	実績値	サイト内容 機能の充実	充実	予算額	4,700千円	決算額	
	評価	A	開設当初では、なかなかアクセス数も伸び悩んでおりましたが、平成27年度からは、緩やかに増加してきており、利用者にとって視覚的や量的などの効果が図れています。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	平成26年度から開設の子育て専門のポータルサイト「MY浦安」の情報元として、年齢別や目的別ガイドをはじめ、イベントカレンダーなど、市民が利用しやすいサイトを提供できるよう引き続き運営していきます。						

事業番号	7	事業名	子育てハンドブックの発行・配布	担当課	こども課		
事 計画内容	妊娠期から子どもが就学するまでの市の様々な子育て支援サービス等を紹介する「子育てハンドブック」の内容充実を図りつつ、定期的な発行を行います。						
	ハンドブック作成部数	平成25年実績	7,000部	平成29年目標	7,000部	平成31年目標	7,000部
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	妊娠、出産、子育て支援(就学まで)のサービスを時系列に掲載するとともに、市内医療機関の紹介、相談機関の紹介等を掲載した子育てハンドブックを作成しました。 また、平成26年度より実施しているのこどもプロジェクト事業や「浦安市の子どもをみんなで守る条例」を特集として掲載し、妊娠、子育て中の市民へ周知を図りました。					
	実績値	ハンドブック作成部数	7,000部	予算額	1,200千円	決算額	
	評価	A	特集ページでこどもプロジェクト事業を掲載したことや、次年度の保育所・幼稚園(認定こども園)の入所・入園申込みの詳細が決定した時期(11月)に発行したことで、子育て支援施策の各事業やこどもへの保育・教育を希望する市民に対し、最新情報を提供することができる冊子となっています。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	子育てハンドブックの発行に関しては、毎年実施し、本市の子育て支援事業等をご紹介する代表的な冊子として、これまでも大きな役割を担っており、引き続き発行を予定しています。 また、子育てハンドブックの広告料収入に関しては、平成28年度からの実施を予定しています。						

(2)母子の健康保持・増進や小児医療体制の充実

事業番号	8	事業名	産前学級の実施			担当課	健康増進課	
重 計画内容	初産婦を対象に、ウェルカム！ベビークラスや妊婦健康講座、プレマクッキングを実施し、妊娠・出産・育児に関する知識やサービスの周知を行うとともに、子育てする親同士の交流を促進し、子育て不安の軽減を図ります。							
	ウェルカム！ベビークラス実施回数	平成25年実績	12回	平成29年目標	12回	平成31年目標	12回	
	妊婦健康講座実施回数	平成25年実績	6回	平成29年目標	6回	平成31年目標	6回	
	プレマクッキング実施回数	平成25年実績	6回	平成29年目標	6回	平成31年目標	6回	
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	①ウェルカム！ベビークラス：第1、2回は平日開催、初妊婦のみ参加。第3回は土曜日開催、パートナーと参加。第1回はビデオ上映、自己紹介、妊娠中の過ごし方、市の制度、お産の実際と産後の過ごし方、呼吸法。第2回は母乳育児について、赤ちゃんの育て方、育児用品、妊娠中の食生活について、母と子の歯科衛生。第3回はビデオ上映、沐浴実習、妊婦疑似体験、赤ちゃんの「泣き」について ②妊婦健康講座：妊娠期～子育て期に必要な知識の普及 ③プレマクッキング：妊婦への栄養指導、調理実習						
	実績値	ウェルカム！ベビークラス実施回数	9回	予算額	777千円	決算額		
		妊婦健康講座実施回数	4回					
		プレマクッキング実施回数	4回					
評価	A	予定通り事業開催できています。広報、ホームページ等で対象者へ周知を行っています。						
平成28年度 事業予定と 今後の課題	参加率が減少傾向にあるので、勤労妊婦の参加などを鑑み、時間帯の検討や月またぎの参加ができることの周知徹底をし、参加しやすいクラスの運営をしていきます。妊娠期より生活習慣の重要性について説明し、育児に関して不安感がある場合は、早期支援につなげることも課題です。							

事業番号	9	事業名	産前・産後サポート事業			担当課	健康増進課	
重 基 事 計画内容	妊娠期から生後約6か月までの子どもを持つ家庭を対象に、産前・産後サポーターが訪問し、円滑に育児がスタートできるよう相談にのり、家庭や地域での孤立感の解消を図ります。							
	利用者数	平成25年実績	—	平成29年目標	200人	平成31年目標	200人	
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	身近に相談できる者がいないことなどから、悩みの相談や育児ノウハウ習得ができるように、産前・産後サポーターによる支援が必要と保健師が判断した方へ訪問をしています。また切れ目のない支援を行うため、宿泊型産後ケア利用者の事後訪問を行っています。						
	実績値	利用者数	107人	予算額	3,624千円	決算額		
	評価	B	対象者を支援が必要と専門職が判断した妊産婦等と限定したことと、傾聴がメインの事業であり、それ以上の広がりや難しい状況であったので利用者から求める声はほとんどありませんでした。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	外出支援や育児のスキルアップを図るための支援を行い、その中で傾聴支援を行っていきけるよう、要綱の見直しを行っていきます。また他事業と連携をはかり、利用者数を増やしていきます。							

事業番号	10	事業名	産後ケア事業		担当課	健康増進課	
基 計画内容	支援者が身近になく、育児不安の強い産婦を対象に、出産医療機関を退院後、心身ともに不安定になりやすい時期に、専門職(助産師等)が母体のケア、乳児ケア、育児サポートなどきめ細かい支援を行います。産後の疲れた身体を癒し支援を受けることで、母児の愛着形成の促進やゆっくり体調を整えながら育児のできる環境を整えます。(宿泊型・デイケア型)						
	利用者数	平成25年実績	—	平成29年目標	200人	平成31年目標	200人
	実施箇所数	平成25年実績	—	平成29年目標	3箇所	平成31年目標	3箇所
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>宿泊型は、平成26年10月15日より東京ベイ浦安・市川医療センター産科病棟個室で空きベッドを利用して開始、26年度の利用実績は12名(延利用日数77日)です。平成28年3月から施設を1箇所増やして実施予定です。</p> <p>日帰り型は、平成27年1月～3月にモデル実施を経て、平成27年6月1日よりオリエンタルホテル・東京ベイの客室を利用し本格実施しました。また、浦安市の産後ケア事業を実施する事業者に対して、産後ケア事業連絡会を平成28年1月に開催し、産後ケア事業の質の向上を目指す取り組みを実施しています。</p>					
	実績値	利用者数	156(宿泊) 79(日帰り)	予算額	36,568千円	決算額	
		実施箇所数	2箇所				
評価	A	<p>宿泊型は平成26年10月から実施、日帰り型は26年度のモデル実施後27年6月から本格実施しています。利用した市民からは好評を得ており、今後も事業拡大の方向性です。</p>					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>宿泊型施設を2箇所、日帰り型施設を2箇所に増やして実施予定です。</p>						

事業番号	11	事業名	各種健診事業の実施		担当課	健康増進課	
事 計画内容	疾病等の早期発見・予防を図るため、妊婦健康診査や妊婦歯科健診、乳幼児健康診査、2歳6か月児歯科健診、フッ化物塗布などを行います。						
	妊婦健康診査延べ健診回数	平成25年実績	17,107回	平成29年目標	21,000回	平成31年目標	21,000回
	1歳6か月児健康診査受診率	平成25年実績	95.4%	平成29年目標	98%	平成31年目標	98%
	3歳児健康診査受診率	平成25年実績	91.9%	平成29年目標	95%	平成31年目標	95%
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>妊婦健康診査(14回分)、妊婦歯科健診(1回分)、乳児健康診査(3回分)、2歳0～5か月児フッ素塗布(1回分)に受診票を交付し、医療機関委託にて実施しています。1歳6か月健診、3歳6か月健診、2歳6か月児歯科健診・フッ素塗布は健康センターにて集団健診を行っています。</p>					
	実績値	妊婦健康診査延べ健診回数	11,002回	予算額	130,819千円	決算額	
		1歳6か月児健康診査受診率	94.9%				
		3歳児健康診査受診率	90.5%				
評価	A	<p>受診率は90%台で推移しています。未受診者及び未把握者については把握に努めています。</p>					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>受診者の継続的なフォローや受診勧奨等を今後も実施していきます。</p>						

事業番号	12	事業名	乳児家庭全戸訪問事業		担当課	健康増進課	
重 事 計画内容	生後4か月までの乳児のいる全世帯を対象に、助産師や保健師、母子保健推進員などが訪問し、子どもの成長・発達や産後の母親の健康状態などについて相談やアドバイスを行います。						
	赤ちゃん訪問件数	平成25年実績	1,255件	平成29年目標	1,351件	平成31年目標	1,348件
	母子保健推進員訪問件数	平成25年実績	1,232件	平成29年目標	1,351件	平成31年目標	1,348件
	乳児家庭全戸訪問 訪問率	平成25年実績	92.4%	平成29年目標	100%	平成31年目標	100%
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(母子保健推進員) 母子保健推進員29名で活動しています。子育てしている家庭と行政のパイプ役として、育児の不安軽減に努めています。2～3か月児のいる家庭への訪問活動を行っています。定例会を年に11回(研修を含む)実施し、知識の向上・情報共有等行っています。</p> <p>(新生児・妊産婦訪問指導) 助産師・保健師により生後0～3か月児のいる家庭への訪問を行っています。母親が心身ともに健康な生活が送れるよう、また児の健康状態を把握するとともに、家庭での子育てが円滑に行われるよう相談や技術指導をしています。年11回のカンファレンスにてスタッフ間で情報共有・連携を行い、指導内容向上のための研修会(年1回)も実施しています。</p>					
	実績値	赤ちゃん訪問件数	900件	予算額	11,010千円	決算額	
		母子保健推進員訪問件数	813件				
		乳児家庭全戸訪問 訪問率	90.8% (母推) 92.1% (新生児訪問)				
評価	A	訪問率は90%台で推移しています。未訪問者については他の事業等により把握に努めています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	母子保健推進員は定年等による退任者が多く予測され、活動が伝承できるよう努めます。新生児・妊産婦訪問指導は、生後2～3か月で訪問することが多い現状ですが、育児不安・困難感を感じる事が最も多いのは産後1か月です。他事業との連携を密にし、出生連絡票受理後、早めに連絡し訪問につなげるよう努めます。						

事業番号	13	事業名	健康教育の実施			担当課	健康増進課	
重 計画内容	1歳児むし歯予防ビーバー教室や歯のすこやか教室などを開催し、講話や実習をとおして子どもの生活リズム、食生活、歯の健康など身近な健康に関する知識を学ぶ機会をつくります。保健師・栄養士・歯科衛生士などが地域の子育てサロンや子育て支援施設で、子どもの健康に関する出前講座や相談に応じます。							
	ビーバー教室実施回数	平成25年実績	12回	平成29年目標	12回	平成31年目標	12回	
	歯のすこやか教室実施回数	平成25年実績	64回	平成29年目標	64回	平成31年目標	64回	
	出前講座実施回数	平成25年実績	98回	平成29年目標	100回	平成31年目標	100回	
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歯のすこやか教室(歯科保健教育) ; 主に、歯垢の染めだし、歯みがき実習。幼稚園14回、小学校17回、中学校9回、子ども発達センター2回、障がい者福祉センター3回実施しており、1月からは保育園においても実施しています。</li> <li>●1歳児むし歯予防ビーバー教室 : むし歯予防のポイントの講話と実習を月1回実施しています。</li> <li>●出前講座 : 市民要望により随時受付、要望に即した内容を実施しています。 ・栄養6回、歯科7回、保健師・助産師79回</li> <li>●子育て応援講座 : 年1回開催(H27年度は2歳児子育て応援講座として実施)</li> </ul>						
	実績値	ビーバー教室実施回数	9回	予算額	533千円	決算額		
		歯のすこやか教室実施回数	45回					
		出前講座実施回数	92回					
評価	A	目標実施回数の達成が見込めそうです。さらなる内容の充実に努めていきます。						
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、市内保育園、幼稚園、小学校、中学校への健康教育をすすめます。また、市民の健康にプラスになるよう講座を開催したり、出前講座にも力を入れていきます。							

事業番号	14	事業名	各種予防接種事業の実施			担当課	健康増進課	
計画内容	乳幼児・児童・生徒を対象に、予防接種法で定められた予防接種を実施するとともに、子育て家庭に対して周知と相談支援を行います。							
	麻疹風しん予防接種接種実績 1期	平成25年実績	1,239人	平成29年目標	1,200人	平成31年目標	1,200人	
	麻疹風しん予防接種接種実績 2期	平成25年実績	1,627人	平成29年目標	1,600人	平成31年目標	1,600人	
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	医療機関委託による個別接種方式で実施 ●実施人数 ・麻疹風しん予防接種接種実績 1期 923人 ・麻疹風しん予防接種接種実績 2期 1,029人 個別通知(お知らせ・予診票)をし、周知を図っています。 また、未接種者には個別通知を実施し、周知を十分に図り接種率向上に努めています。						
	実績値	麻疹風しん予防接種接種実績 1期	923人	予算額	33,002千円	決算額		
		麻疹風しん予防接種接種実績 2期	1029人					
	評価	A	接種率目標95%の達成を見込みます。また、未接種者には個別通知を発送するなど、周知を十分に図り接種率向上に努めています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、医療機関委託による個別接種方式で実施。また、個別通知(お知らせ・予診票)を実施し、未接種者には再度個別通知を実施し、周知を十分に図り接種率向上に努めています。							

事業番号	15	事業名	こどもの予防接種スケジュール作成支援事業	担当課	健康増進課		
基							
計画内容	スマートフォン、携帯電話、パソコン等の情報端末により、予防接種のスケジュール管理ができる機能を提供し、予防接種忘れなどを未然に防ぎ、保護者の負担を軽減します。						
	登録者数	平成25年実績	—	平成29年目標	2,000人	平成31年目標	2,000人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	平成26年12月1日よりこどもの予防接種スケジュール作成支援事業を開始。スマートフォン、携帯電話、パソコン等の情報端末により、簡単に予防接種のスケジュール管理ができることで、子育てをする保護者の負担軽減を図り、予防接種忘れを防止しています。 ・登録人数 1,632人 ・世帯数 1,421世帯					
	実績値	登録者数	1,632人	予算額	1,056千円	決算額	
	評価	A	毎月100人程度の登録数があり、予防接種のスケジュール管理がスマートフォン、携帯電話、パソコン等の情報端末により簡単にできるため予防接種忘れが減り、こどもの健康増進につながっています。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続きこどもの予防接種スケジュール作成支援事業を実施。簡単に予防接種のスケジュール管理ができることで、子育てをする保護者の負担軽減を図り、予防接種忘れを防止していきます。すべての保護者が登録していないため、今後当アプリに浦安市の子育て情報を発信できるようにし、登録件数を増やしていく必要があります。						

事業番号	16	事業名	休日や急病時の医療体制の整備	担当課	健康増進課		
計画内容	小児救急医療対応として、日曜日・祝日の昼間に小児科医が急病診療所に常駐し、急病の子どもの初期診療を行います。また、日曜・祝日・年末年始の午前中に歯の治療が緊急で必要になった方に応急処置を行います。						
	急病診療所受診者数(小児科)	平成25年実績	2,081人	平成29年目標	2,080人	平成31年目標	2,080人
	休日救急歯科診療所受診者数(0~15歳未満)	平成25年実績	30人	平成29年目標	30人	平成31年目標	30人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	急病診療所は、内科・小児科の初期治療と応急処置を毎日(365日)20時~23時、日曜日・祝日・年末年始(12/30~1/3)10時~17時に行っています。歯科診療所は、日曜、祝日、年末年始の9時から12時に開院し、歯科救急患者に対応しています。					
	実績値	急病診療所受診者数(小児科)	1,339人	予算額	118,542千円	決算額	
		休日救急歯科診療所受診者数(0~15歳未満)	15人				
	評価	A	日曜日は小児科専門医がいるためか小児科受診者数の割合が高いです。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	継続して実施予定です。小児科専門医が不足のため、27年度より順天堂浦安病院と東京ベイ医療センターの医師にも執務を委託しております。受診者数は減少傾向のため継続方法等について検討が必要です。						

(2)母子の健康保持・増進や小児医療体制の充実

事業番号	17	事業名	幼稚園子育てすこやか広場の実施	担当課	保育幼稚園課		
計画内容	公立幼稚園・幼稚園型認定こども園を開放し、親子・幼児同士の遊びの指導を通じて地域の幼児間・保護者間の交流を図るすこやか広場を実施します。また、保育カウンセラーを派遣し、保育相談を実施します。						
	実施園数	平成25年実績	14園	平成29年目標	14園	平成31年目標	14園
平成27年度実施状況と評価	実施状況	平成27年度は12月31日時点で0歳から未就園児とその保護者を対象としたにこにこランドを14園で計184回実施し、3,573組が参加しました。また、次年度2年保育入園希望の3歳児とその保護者を対象としたわくわくランドを計81回実施し、1,000組が参加しました。 3月までににこにこランドを54回、わくわくランドを32回開催予定です。 さらに、長期休業中の8月を除く各月に1度各園に保育カウンセラーを派遣し、2,260件の相談がありました。					
	実績値	実施園数	14園	予算額	8,384千円	決算額	
	評価	A	核家族・少子化が進む中、地域の子どもや親同士のふれあいの場を設けることで、子育てに対する悩みや不安の解消、子育ての楽しさや喜びの実感、乳幼児期に必要な生活体験などを得ることができ、入園前に園の生活に慣れ親しむ場としても寄与しています。				
平成28年度事業予定と今後の課題	平成28年度は14園で324回の開催を予定しています。少子化や3歳児保育実施園の増加などから参加者数は徐々に減少していますが、未就園児を対象とした身近な子育て支援の場として継続的な実施が必要な事業となっています。また、保育カウンセラーによる保育相談によって、特に配慮が必要な子も含め、入園前から卒園・就学まで継続的な支援を行うことができています。						

事業番号	18	事業名	保育園園庭開放の実施	担当課	保育幼稚園課		
計画内容	在宅で子育て中の親子を対象に認可保育園を定期的に開放し、遊びへの参加(園庭遊び、季節の遊び、行事参加)を支援します。						
	実施園数	平成25年実績	8園	平成29年目標	10園	平成31年目標	10園
	延べ利用者数	平成25年実績	1,225人	平成29年目標	1,300人	平成31年目標	1,300人
平成27年度実施状況と評価	実施状況	保育園では、地域に住んでいる方を対象として園庭開放を実施し、子育て支援を行っています。園庭開放以外にも園内ホールを開放しての紙芝居や人形劇を行ったり、運動会などの行事に参加を呼びかけています。なお、民設民営の保育園でも実施している園があります。					
	実績値	実施園数	7園	予算額	0円	決算額	
	延べ利用者数	976人					
評価	B	園庭開放を通じて同年齢の親子が知り合いになり、親交を深める機会になったり、入園希望の保育園の下見をしたりする方もいるようです。今年度は園庭開放の実施を取りやめた園が1園ありました。					
平成28年度事業予定と今後の課題	28年度も引き続き園庭開放を実施していく予定です。しかしながら、さまざまな育児支援の形態や施設が増えてきたことや、日程が重なったりすることで、園庭開放の参加者が少なくなっています。実施内容の検討や子育て支援の方法等検討が必要かと思えます。						

事業番号	19	事業名	社会福祉協議会の子育て支援事業	担当課	社会福祉課		
重 計画内容	子育て中の親同士の情報交換や交流を推進する住民主体の活動の場として、支部社会福祉協議会が行う公民館や自治会館を利用した子育てサロンや堀江つどいの広場など、社会福祉協議会が子育て世代の交流を推進する事業を支援します。						
	延べ参加者数	平成25年実績	8,748人	平成29年目標	10,500人	平成31年目標	11,550人
	実施回数	平成25年実績	349回	平成29年目標	420回	平成31年目標	462回
	実施箇所数	平成25年実績	21箇所	平成29年目標	25箇所	平成31年目標	28箇所
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	支部社協が組織された平成13年度から各支部で「子育てサロン」を実施し、子育て中の親同士の情報交換や友だちづくり、地域住民との交流の場づくりに取り組んできました。平成25年6月から堀江つどいの広場を運営、助産師相談や健康相談また、月1回開所の土曜日には父親の育児参加促進事業を行なっています。また27年9月には、ふたば保育園と母子保健推進員の協力により同保育園内に「うらちゃんサロン北栄」を開設するなど、市の子育て施設と連動する事業を積極的に展開しています。					
	実績値	延べ参加者数	9,805人	予算額	6,200千円	決算額	
		実施回数	268回				
		実施箇所数	20箇所				
評価	A	子育て中の親同士の情報交換や友だちづくり、地域住民の交流の場、また、保育士や保健師などの専門職に相談することのできる場として好評を得ています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	子育て中の親が孤立しないよう、子育てサロンを通じて情報交換やともだちづくりができるように地域住民や関係機関と連携し積極的に取り組みます。						

事業番号	20	事業名	望海の街子育てサロン支援事業	担当課	こども課		
重 基 計画内容	市、浦安市社会福祉協議会及び独立行政法人都市再生機構との協働により望海の街集会所で実施している「望海の街子育てサロン」の運営を支援します。						
	運営補助	平成25年実績	—	平成29年目標	実施	平成31年目標	実施
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	地域で開催されている子育てサロンの実施状況を踏まえ、利用者を0歳児から2歳児までの子どもとその保護者・妊婦とし、第1・3月曜日は0歳児・妊婦を対象、第2・4木曜日を1～2歳児対象としたサロンを開催しています。さらに、「食育への取り組み」として子育てに追われる保護者の方に少しでもゆっくり過ごしてもらえる食事会をはじめ、時短レシピや行事会の紹介を行っており、また、離乳食教室や栄養相談も行っています。					
	実績値	運営補助	実施	予算額	1,069千円	決算額	
評価	A	市の掲げる切れ目のない子育て支援につなげ、安心して第2子、3子を出産し、育てられる環境を、地域の資源を活用し、官民一体で取り組む先進的な事業となります。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	子育て中の親子の交流・情報交換の場として、また、子育て等に関する相談などの場として、子育てサロンが開催され、これからも不安を抱える親子には地域での子育て支援は必要であり、引き続き、平成28年度以降も運営の支援を継続していきます。						

事業番号	21	事業名	ほのぼのタイムの実施		担当課	こども課	
計画内容	妊婦や生後6か月までの親子が集い、情報交換や交流を深められるほのぼのタイムを市内各公民館で実施します。						
	開催箇所数	平成25年実績	7箇所	平成29年目標	7箇所	平成31年目標	7箇所
	延べ参加者数(組)	平成25年実績	1,459組	平成29年目標	1,500組	平成31年目標	1,600組
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>妊婦と生後6か月までの乳児及びその親に対し、地域連帯感を深め出産や育児不安の軽減を図ることを目的に、妊婦及び子育て中の親子の交流する場として、市内各公民館にて開催しています。</p> <p>・開催場所…当代島公民館、中央公民館、堀江公民館、富岡公民館(改修工事のため文化会館にて実施)、美浜公民館、日の出公民館、高洲公民館</p> <p>・開催時間…原則として月に1回指定した日の午前10時から正午</p> <p>※保健師(偶数月)、子育てケアマネジャー(奇数月)を派遣し、軽易な相談を実施。</p>					
	実績値	開催箇所数	7箇所	予算額	1,710千円	決算額	
		延べ参加者数(組)	1,043組				
評価	A	実施場所である各公民館で妊婦の方や生後6か月までの親子が集まり交流することをはじめ、保健師や子育てケアマネジャーに育児相談し、不安を軽減することで、子育て意欲が高まってきます。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	各公民館の利用状況を見ると、毎月の利用者数にばらつきが見受けられるが、概ね参加をいただいています。平成28年度は、引き続き、出産や育児の不安を抱える妊婦の方や生後6か月までの親子の支援として継続していきます。また、各公民館の地域の実情に応じた周知方法などの検討をしていきます。						

## 2 幼児期の教育・保育の充実

### (1)質の高い幼児教育・保育の提供

事業番号	22	事業名	認定こども園の整備			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	<div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <span style="color: red; font-weight: bold;">重 事</span> </div> <p>(仮称)私立明海南認定こども園を開設するとともに、公立幼稚園の認定こども園移行を進め、学校教育と保育を一体的に行う認定こども園の整備を進めます。また、認可保育園の認定こども園への移行を検討します。</p>							
	認定こども園数(幼保連携型・幼稚園型)	平成25年実績	0園	平成29年目標	9園	平成31年目標	9園	
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	平成27年4月1日に明海地区に私立の幼保連携型認定こども園として、渋谷教育学園浦安こども園(定員223名)が開園した。さらに、公立幼稚園8園を幼稚園型認定こども園へ移行しました。						
	実績値	認定こども園数(幼保連携型・幼稚園型)	9園	予算額	平成26年度 予算で整備	決算額		
評価	A	多様な教育・保育の提供ができるとともに、待機児童解消の一助となりました。						
平成28年度 事業予定と 今後の課題	待機児童の状況を見ながら、引き続き、幼稚園・認可保育所の認定こども園への移行を検討します。							

事業番号	23	事業名	認可保育園の整備			担当課	保育幼稚園課	
計画内容	<div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <span style="color: green; font-weight: bold;">基 事</span> </div> <p>待機児童の解消や多様な保育需要に対応するため、認可保育園の整備を進めます。国の認可外児童保育施設運営支援事業を活用して、運営に要する費用の一部を補助することにより、認可外保育施設が認可保育園に移行できるよう支援します。</p>							
	認可保育園数	平成25年実績	18園	平成29年目標	25園	平成31年目標	28園	
	定員数	平成25年実績	2,312人	平成29年目標	2,938人	平成31年目標	3,026人	
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	平成27年6月1日にポピンズナーサリースクール浦安(定員76名)、11月1日に浦安わかばの森保育園(定員38名)とあい・あい保育園浦安園(定員40名)が開園しました。						
	実績値	認可保育園数	24園	予算額	65,286千円	決算額		
		定員数	2,519人					
評価	A	多様な教育・保育の提供ができるとともに、待機児童解消の一助となりました。						
平成28年度 事業予定と 今後の課題	待機児童の状況を見ながら、引き続き、認可保育所の整備を進めます。							

事業番号	24	事業名	地域型保育事業の充実		担当課	保育幼稚園課	
事							
計画内容	市が家庭的保育者(保育ママ)を認定し、少人数の乳幼児を自宅などの家庭的な環境のもとで保育する家庭的保育事業を実施します。また、保育の質の確保や多様な保育ニーズにきめ細かく対応が可能である小規模保育施設の整備を進めます。						
	家庭的保育箇所数	平成25年実績	4箇所	平成29年目標	5箇所	平成31年目標	5箇所
	小規模保育箇所数	平成25年実績	0箇所	平成29年目標	1箇所	平成31年目標	4箇所
平成27年度実施状況と評価	実施状況	平成27年4月1日現在で、家庭的保育者(保育ママ)6人を認定し各家庭で、0歳児から2歳児までの保育を実施しています。さらに、小規模保育施設1園(定員12人)が開園しました。					
	実績値	家庭的保育箇所数	6箇所	予算額	平成26年度 予算で整備	決算額	
		小規模保育箇所数	1箇所				
評価	A	多様な教育・保育の提供ができるとともに、待機児童解消の一助となりました。					
平成28年度事業予定と今後の課題	待機児童の状況を見ながら、引き続き、地域型保育事業の整備を進めます。						

事業番号	25	事業名	公立幼稚園・認定こども園3歳児保育の実施		担当課	保育幼稚園課	
事							
計画内容	幼児期の学び環境を充実するため、公立幼稚園・認定こども園における3歳児保育を拡充します。						
	実施園数	平成25年実績	5園	平成29年目標	9園	平成31年目標	9園
平成27年度実施状況と評価	実施状況	平成27年度より、若草認定こども園、みなみ認定こども園、神明幼稚園、美浜北認定こども園の4園で3歳児保育を開始し、実施園は合計9園になりました。					
	実績値	実施園数	9園	予算額	幼稚園費等 の一部	決算額	
評価	A	実施園が増えたことで、3年間を通して地域の園に通園することができ、発達を見通した教育ができるようになりました。また、認定こども園で3歳児保育を実施することは、地域型保育事業の保育ママを卒業するこどもの受け入れ先となり、待機児童の解消にもつながっています。					
平成28年度事業予定と今後の課題	平成28年度には、北部認定こども園と富岡幼稚園において3歳児保育を実施します。北部認定こども園は、新たに保育ママの受け入れ先になる予定です。今後については、こども人口の状況を見ながら、検討していきます。						

事業番号	26	事業名	保育士資格取得支援補助金事業	担当課	保育幼稚園課		
基 事							
計画内容	市内の認可保育園等における保育士資格を有していない保育従事者の保育士資格取得を支援します。						
	保育士資格取得者数	平成25年実績	—	平成29年目標	10名	平成31年目標	10名
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	平成27年度より「浦安市保育士資格取得補助金交付規則」を制定し、保育士資格取得者に対し講座受講費用、及び保育士試験の受験手数料の補助を行っています。保育士試験の実技試験結果通知が1月以降となるため、平成27年12月31日時点での申請者は0名となっていますが、1月以降保育士登録証が発行され申請がある見込みです。					
	実績値	保育士資格取得者数	0名	予算額	730千円	決算額	
		評価	B	規則を制定し補助金の交付を行う体制が整えられました。			
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き保育士資格取得者に対する補助を行い、勤務する対象施設等における保育の充実を図り、子どもを安心して育てることができる体勢を整えていきます。						

事業番号	27	事業名	浦安市就学前「保育・教育」指針の推進	担当課	保育幼稚園課		
重 事							
計画内容	保育園や幼稚園（認定こども園含む）のそれぞれのメリットを活かした質の高い保育・教育が受けられるよう、現場に“就学前「保育・教育」指針”の浸透・周知を図り、保育・教育の質の向上に努めます。また、「保育・教育」指針の見直しを行い幼児教育の充実に努めます。						
	指針に基づく質の高い保育・教育の実施	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	各園においては、本指針を活用して、質の高い保育・教育を実践しています。指針の見直しについては、28年度末に改訂版作成を計画しており、27年度は各園の指針の活用状況や改訂内容についてのアンケート調査を実施しました。その調査結果を基に、改訂の方向性と内容をまとめました。今後、指針改訂の方向性と内容について、学識者からアドバイスをいただく予定です。計画では、本年度中に改訂の作業を開始する予定でしたが、委員選定の関係から、途中計画を見直し・変更し、実際の作業開始は28年度4月からとしました。改訂版作成の委員会の立ち上げについては、今年度中に行う予定です。					
	実績値	指針に基づく質の高い保育・教育の実施		予算額	120千円	決算額	
		評価	A	各園の指針の活用状況や意見をアンケート調査することで、改訂の方向性や内容が明らかになりました。指針を見直すことは、保育・教育の質を高めることにつながります。			
平成28年度 事業予定と 今後の課題	4月には改訂のための委員の選出を行い、5月から改訂作業を開始する予定です。28年度末の作成まで、計画的に進めていきます。指針を定期的に見直すことは、教員・保育士の指導力を高めることになり、質の高い保育・教育の実践につながるものと考えます。						

事業番号	28	事業名	幼・保・小・中連携教育推進事業	担当課	保育幼稚園課 指導課		
重 事 計画内容	幼稚園(認定こども園含む)・保育園と小・中学校が連携を強化し、教職員・保育士間の情報交換を図るとともに、子どもの発達や学びの連続性を大切にしたカリキュラムを作成し、滑らかな接続を図ります。						
	幼稚園・保育園と小・中学校の連携強化	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問や計画訪問を通じて、アプローチ・スタートカリキュラムの周知を図りました。</li> <li>・各中学校区において、8月21日の「浦安市幼・保・小・中連携の日」を活用し、教職員の合同研修会や情報交換会を開催したり、互いの授業や保育、教育の様子を参観し合ったりして、地域や子どもたちの実態を把握し、発達の段階に応じた手だての共通理解を図ってきました。</li> <li>また、年1回連携担当者の研修会を開催し、国の方針や他市の先進事例を学び、それぞれの園や学校での取り組みに生かしました。</li> </ul>					
	実績値	幼稚園・保育園と小・中学校の連携強化	推進	予算額	30千円	決算額	
	評価	B	情報交換や子どもおよび教職員の交流は活発になってきたが、アプローチ・スタートカリキュラムの活用に至りませんでした。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプローチ・スタートカリキュラムの周知を図るため、リーフレットを作成し、幼稚園・認定こども園、保育園、小中学校の全教職員に配付します。</li> <li>・カリキュラムを活用し、育てたい力を明確にし、系統的、継続的な学びの実践に努めます。</li> </ul>						

(2)母子の健康保持・増進や小児医療体制の充実

事業番号	29	事業名	一時預かり事業の充実			担当課	保育幼稚園課	
事 計画内容	保護者の就労や病気などで家庭での保育が困難になった園児を幼稚園、幼稚園型認定こども園で一時的に預かります。 保育園などを利用せず、在宅で子育てをしている家庭を支援するため、認可保育園において一時保育を行うとともに、保育室ゆるりや明海つどいの広場などの施設において一時預かりを実施します。							
	幼稚園預かり保育実施箇所数(公立・私立)	平成25年実績	11箇所	平成29年目標	13箇所	平成31年目標	13箇所	
	認可保育園及び一時預かり専用施設での一時預かり実施箇所数	平成25年実績	9箇所	平成29年目標	12箇所	平成31年目標	13箇所	
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	(保)在宅子育て支援事業として一時預かりを認可保育園7園と幼保連携型認定こども園1園、保育室ゆるり、明海つどいの広場で実施しています。 東野保育園 1,038人 高洲保育園 997人 浦安駅前保育園 1,250人 しおかぜ保育園 806人 ホピンスナーサリースクール新浦安 1,090人 弁天保育園 1,133人 愛和元町保育園 1,389人 渋谷教育学園浦安こども園 439人 保育室ゆるり 1,703人 明海つどいの広場 1,359人 (幼)公立認定こども園8園及び私立幼稚園5園で実施しています。 若草認定こども園 616人、みなみ認定こども園 608人、北部認定こども園 667人 堀江認定こども園 1,114人 美浜南認定こども園 1,280人、舞浜認定こども園 2,262人、美浜北認定こども園 1,499人、明海認定こども園 1,492人 (平成27年12月末現在の利用状況(延べ人数))						
	実績値	幼稚園預かり保育実施箇所数(公立・私立)	13箇所	予算額	44,614千円	決算額		
		認可保育園及び一時預かり専用施設での一時預かり実施箇所数	10箇所					
評価	A	(保)一時預かり事業の利用、特に私的理由での利用を希望される方が増えています。 (幼)一時的に保育が必要になった際の預け先として好評を得ています。						
平成28年度 事業予定と 今後の課題	(保)一日単位のリフレッシュや育児負担の軽減ということでの一時預かりの利用を希望される方が多くなっていますが、通常の2人から3人の利用枠では確保が難しい現状があります。 (幼)実際の空き状況と利用を希望する日の空き状況が合うことが少なく、利用率及び利用者数の確保が課題となっています。							

事業番号	30	事業名	理由を問わない短時間の一時預かり事業	担当課	保育幼稚園課		
基 事 計画内容	子育て中の保護者が、気持ちをリフレッシュし、子育てに対する閉塞感を和らげ、新たな気持ちで子育てに取り組めるよう、理由を問わずに短時間(3時間まで)利用できる一時預かりを幼稚園や旧第3職員住宅で行います。						
	実施箇所数	平成25年実績	—	平成29年目標	4箇所	平成31年目標	4箇所
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	平成26年度中に開設した富岡ルーム(富岡幼稚園内)及び日の出ルーム(日の出幼稚園内)に引き続き、平成27年4月より保育室アリエ(旧第三教職員住宅内)で事業を開始しています。利用者数については徐々に伸びてきており、事業内容等については、利用者からのアンケートを実施し、利便性を向上等に努めています。 平成27年度利用者数 富岡ルーム4,099名、日の出ルーム5,027名、アリエ1,307名(平成27年12月末現在)					
	実績値	実施箇所数	3箇所	予算額	24,149千円	決算額	
	評価	A	利用者数については口コミ等で地域で認知され、徐々に伸びてきており、利用者から好評を得ています。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	平成28年度については、新たに1施設を開設するため、改修工事の設計業務委託を行う予定です。今後についても気軽に理由を問わず預けることができる施設としての周知を引き続き行い、保護者の福祉の増進を図っていきます。						

事業番号	31	事業名	病後児保育の充実	担当課	保育幼稚園課		
基 事 計画内容	病気回復期のため、集団保育が困難な生後57日目から小学校3年生までの子どもを対象に、病院や保育園に併設された施設で一時預かりを行います。						
	延べ利用者数	平成25年実績	449人	平成29年目標	685人	平成31年目標	686人
	実施施設数	平成25年実績	2施設	平成29年目標	3施設	平成31年目標	3施設
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	病後児保育事業の運営を市内2ヶ所の施設(浦安中央病院・ポピンズナーサリースクール新浦安)で行っています。 平成27年12月末現在、同事業の利用者は延べ322人で、施設別の内訳は、浦安中央病院病後児保育室「ぼんだルーム」で延べ281人、ポピンズナーサリースクール新浦安病後児保育室「アクアルーム」では、延べ41人の利用がありました。					
	実績値	延べ利用者数	322	予算額	19,570千円	決算額	
	評価	A	実施施設数	2	ポピンズナーサリー浦安において、28年1月4日より病児保育を開始の予定です。		
平成28年度 事業予定と 今後の課題	順天堂大学附属浦安病院での本事業の実施について、今後検討を進めていく予定です。						

事業番号	32	事業名	延長保育の実施		担当課	保育幼稚園課	
事 計画内容	保護者の就労形態や通勤時間により保育時間の延長が必要と認められる子どもに対し、認可保育園で早朝及び夕方の延長保育を実施します。						
	利用者数	平成25年実績	1,574人	平成29年目標	2,025人	平成31年目標	2,282人
	実施施設数	平成25年実績	18園	平成29年目標	24園	平成31年目標	24園
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	認可保育所21園に加え、4月から幼保連携型認定こども園1園、家庭的保育事業6ヶ所、小規模保育事業1ヶ所、6月から認可保育所1園、さらに11月から認可保育所2園が開園し、延長保育を実施しています。 延長保育を実施する保育所等が増えたことにより、保護者の利便性が向上しています。					
	実績値	利用者数	2193人	予算額	204,394千円	決算額	
		実施施設数	32ヶ所				
評価	A	延長保育実施園が増えたことにより、保護者の利便性が向上しています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き26園で実施するとともに、開園予定の保育所を含め、今後も保護者の利便性向上を図っていきます。						

事業番号	33	事業名	休日保育の実施		担当課	保育幼稚園課	
事 計画内容	保育園に子どもを預けている保護者が日曜・休日に就労や病気などで子どもの保育ができない場合、私立保育園2園で休日保育を実施するとともに、保護者の利用状況などを踏まえ、休日保育の充実を検討します。						
	実施園数	平成25年実績	2園	平成29年目標	2園	平成31年目標	2園
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	私立保育所2園で休日保育を実施しています。 現在のところ、昨年度より利用者数は減少傾向にありますが、多様な就労形態に対応できています。					
	実績値	実施園数	2園	予算額	-	決算額	
評価	A	継続して2園で実施しており、多様な就労形態に対応できています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き2園で実施するとともに、利用状況などを踏まえ、休日保育の充実を検討します。						

事業番号	34	事業名	エンゼルヘルプサーピスの実施	担当課	こども家庭支援センター		
計画内容	保護者が出産や病気などの際に、周りから支援が見込めない産後2か月までの子どもがいる家庭を対象に、保護者に代わって家事や育児支援を行うエンゼルヘルパーを派遣します。						
	延べ派遣件数	平成25年実績	1,385件	平成29年目標	1,500件	平成31年目標	1,500件
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	保護者が出産前後や病気などで家事・育児ができず、周囲の支援が十分にも込めない家庭に対し、エンゼルヘルパーを派遣しています。また、看護師資格を有する訪問コーディネーターが利用者の健康不安への相談や指導などをきめ細やかに実施しています。					
	実績値	延べ派遣件数	1,078件	予算額	7,780千円	決算額	
		評価	A	利用しやすい料金設定や、サービスの質に関して、多くの利用者からの信頼が得られており、安定した利用件数を維持しております。			
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き継続して取り組んでいきます。						

事業番号	35	事業名	こどもショートステイの実施	担当課	こども課		
事 計画内容	保護者の病気や出産などの一時的な事情により、家庭での養育が困難な児童を保護者に代わり施設において保育します。						
	実施箇所数	平成25年実績	1箇所	平成29年目標	1箇所	平成31年目標	1箇所
	延べ利用日数	平成25年実績	23日	平成29年目標	241日	平成31年目標	239日
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	疾病、出産、看護などの理由で児童の養育が一時的に困難となった家庭の児童を一時的に施設等で保護する「こどもショートステイ事業」について、松戸市の児童養護施設「晴香園」に事業を委託して行いました。					
	実績値	実施箇所数	1ヶ所	予算額	2,089千円	決算額	
		延べ利用日数	14日				
評価	B	平成27年度の利用実績 延べ3名 11泊 利用希望者の意向や状況に合わせ、柔軟な受け入れを行うことができました。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	利用者数は年度により増減しているが、身近に子どもを預けることができる親族や友人がいない市民にとってのセーフティーネットとしての機能を果たすことができます。また、利用者にとって実施先が遠方であることで、日帰りやトワイライトステイの利用を難しくしている現状があることから、平成28年度以降は委託先を市川市内に変更し、当事業を利用しやすい環境を築いていく予定です。						

事業番号	36	事業名	ファミリー・サポート・センター事業の充実	担当課	こども課		
重 事 計画内容	育児の援助を受けたい人(おねがい会員)と育児の援助を行いたい人(まかせて会員)、両方とも希望する人(どっちも会員)が会員となり、会員相互の援助活動により子育て家庭の育児を応援します。また、病後児の預かりについても関係機関と連携しながら利用しやすい環境づくりを検討します。						
	おねがい会員数	平成25年実績	1,756人	平成29年目標	1,800人	平成31年目標	1,900人
	まかせて会員数	平成25年実績	299人	平成29年目標	320人	平成31年目標	340人
	どっちも会員数	平成25年実績	229人	平成29年目標	265人	平成31年目標	280人
	活動件数	平成25年実績	5,180件	平成29年目標	5,850件	平成31年目標	6,150件
	病後児保育延べ利用者数	平成25年実績	0人	平成29年目標	60人	平成31年目標	60人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	ファミリー・サポート・センターの運営を浦安市社会福祉協議会に委託しています。主な活動内容としては、保育所・幼稚園の送り迎え及び帰宅後の預かり、学童保育の送り迎え及び帰宅後の預かり、買い物等の外出の場合の援助、保護者の短時間・臨時就労の場合の援助、保護者等の病気・その他急用の場合の援助などを行いました。					
	実績値	おねがい会員数	1,754人	予算額	14,262千円	決算額	
		まかせて会員数	343人				
		どっちも会員数	213人				
		活動件数	4,391件				
病後児保育延べ利用者数	0件						
評価	A	おねがい会員(依頼会員)、まかせて会員(提供会員)が年々増加しており、制度の周知が進み、浸透している成果だと思われます。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	援助の担い手である「まかせて会員」については、おねがい会員に比べると伸び悩んでいます。子育て・家族支援者養成講座修了生の多数登録があり、また、2級認定者のみ登録可能な特別まかせて会員(病後児・新生児の預かり等を行う)の会員数も増えています。今後は会員の確保に引き続き努めるとともに、登録会員の利用を促進する取り組みを行い、利用実績の増加を図ります。						

事業番号	37	事業名	託児保育者派遣事業	担当課	こども課		
計画内容	育児期間でも気軽に市の主催事業に参加し、学習などができるよう、子育て・家族支援者養成講座の修了生を託児保育者として登録し、市主催託児付き事業に参加する子どもを保育します。						
	派遣事業数	平成25年実績	18事業	平成29年目標	25事業	平成31年目標	25事業
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	子育て・家族支援者養成講座の修了生に託児保育者として登録してもらい、市主催の託児付き事業(16事業、延べ74日)へ託児保育者を派遣しました。					
	実績値	派遣事業数	16事業	予算額	1,125千円	決算額	
評価	A	託児保育付きの事業の実施により、育児中でも市の実施する事業に参加することが可能になり、子育て中の家族の育児支援や社会との関わりを持つ機会の確保、学習権の保障など様々な社会的効果が期待できます。さらに、子育て・家族支援者養成講座修了生の活動の場の保障につながっています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	市主催事業において保育を行うことにより、子育て中の家族の支援や社会との関わりを持つ機会の確保、学習権の保障を図ってきました。また、子育て・家族支援者養成講座の修了生の活動の場にもなり、目標の派遣事業数には届かないものの、着実に保育付き事業が浸透してきています。						

事業番号	38	事業名	公民館主催事業の保育の実施			担当課	各公民館	
計画内容	乳幼児を持つ保護者の学習権を保障するため、一時保育付の公民館主催事業を実施します。							
	保育実施事業数	平成25年実績	120事業	平成29年目標	132事業	平成31年目標	143事業	
高洲公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	子育て中の家族を支援するため、「スクラップブックング」「パッキング」「女性講演会」等を保育付き事業として実施しました。託児数356名。					
		実績値	保育実施事業数	19事業	予算額	560千円	決算額	
		評価	A	保育付き主催事業を充実し、乳幼児を持つ親の参加を支援するとともに、子育て中の保護者同士の交流を図ることができました。また、参加者から「安心して受講できる」など好評を得ています。				
	平成28年度 事業予定と 今後の課題	幼い子を持つ親等の学習を支援するためには、保育付きの主催事業は不可欠であり、また子どもにとって、他者との関わりを持ち社会性を体得していく機会として、今後も継続していきたいです。						
中央公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	①実績件数と見込み件数：20事業102回 ②実績内容：2歳児親子遊び教室(5回)・県民の日「浦安まるごと子ども広場」(1回)・浦安小学校子育てミーティング(6回)・東小学校子育てミーティング(11回)・神明幼稚園子育てミーティング(9回)・若草幼稚園子育てミーティング(8回)・うらやす子育てミーティング「～素敵なおママになる～」(4回)・産前産後版子育てミーティング(9回)・魅力的な親になろう5(3回)・日本語教室初級(8回)・日本語教室中級(10回)・文化祭実行委員会(4回)・防災ピクニック振り返り(2回)・エコカフェ@猫実(9回)・話し合いのコツをつかむ！ファッションデザイナー養成講座(2回)・うらやす子育てミーティング運営会議(7回)・かみさまのやくそく～胎内記憶を語る子供たち～上映会(1回)・ビジネスセミナー⑩～大人の褒め方、褒められ方、叱り方、叱られ方(1回)・中央公民館ビジネスセミナー「劇的に変わるプレゼンテーション術～PowerPoint作成前にすべきこと～」(1回)・消費生活センターコラボ事業②「ちょっとのコツで簡単お洗濯～お洗濯名人になろう！～」(1回) 12月31日現在述べ参加者計2478人					
		実績値	保育実施事業数	20事業	予算額	2,131千円	決算額	
		評価	A	乳幼児を持つ保護者の学習権の保障のためには、保育付きの主催事業を開催することは有意義なものと考えます。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」という声が多いです。また、保育される子どもの学びの場ともなっています。				
	平成28年度 事業予定と 今後の課題	平成28年度も引き続き、子育て世代の方々が様々な分野の講座に参加できるよう実施していきます。また、より深い学びとなるように連続講座に心がけていきます。						
堀江公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	①実施件数と見込み件数：13事業(70回) ②実績内容：おひさまクラブⅡ(20回)・みなみ・堀江・舞浜こども園・吹上幼稚園合同家庭教育学級(14回)・南・舞浜小学校合同家庭教育学級(14回)・人権講座(1回)・女性セミナー(3回)・子育て支援講座「子どもが言葉をはぐくむとき」(1回)・堀江公民館文化祭実行委員会(4回)・子育て支援 パパママ応援!!(4回)・初めての金融講座「ゼロから学ぶ日経平均・外国為替」(2回)・イスを使ってエアロ体験(3回)・はじめてのまちづくり講座(2回)・ジャーナリストが語る大人の社会科(1回)・味噌作り講座(1回)					
		実績値	保育実施事業数	13事業	予算額	740千円	決算額	
		評価	A	乳幼児を持つ保護者の学習権の保障のためには、保育付きの主催事業を開催することは有意義なものと考えます。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」という声が多いです。				
	平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会を持つことができるように、保育付きの事業を実施していきます。						

富岡公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	実績件数:4事業6回 実績内容①フライパンでパンづくり(1回)②楽しい押し花講座(1回)③夏に向けてシェイプアップ(2回)④和食の魅力再発見(2回)				
		実績値	保育実施事業数	4事業	予算額	79千円	決算額
		評価	A	今年度においては、改修工事に伴い、事業の実施については、6月までの実施となっています。			
	平成28年度事業 予定と今後の課題	28年度においては、通常の事業数に戻り、保育つき事業の充実を図りたいです。					
美浜公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	実績件数:8事業49回 実施内容:小学校子育てミーティング(14回)、幼稚園子育てミーティング(14回)、親子ドレミ教室春・秋(各5回)、文化祭実行委員会(4回)、子どもと向き合う。自分と向き合う??(4回)、“Xmasを彩る”フラワーアレンジメント講座(1回)、平和人権講座(2回)				
		実績値	保育実施事業数	8事業	予算額	597千円	決算額
		評価	A	乳幼児を持つ保護者の学習権の保障のためには、保育つきの主催事業を開催することは有意義なものと考えます。受講者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」という声が多いです。			
	平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会を持つことができるように、保育付きの事業を実施していきます。					
当代島公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	①実績件数:17事業54回 ②実績内容:思春期をハッピーに(2回6人)・文化祭実行委員会(3回・3人)・もっとキレイにスリムに健康に(1回1人)・ハワイアンカルチャーin当代島(2回・2人)・陶芸体験講座春期(5回・10人)・陶芸体験講座秋期(9回・14人)・まちのパン屋さんと一緒にパン作り春(1回11人)・まちのパン屋さんと一緒にパン作り冬(1回10人)・貴方も今日から片付け達人だ(4回35人)・もしもの大震災に備える(1回1人)・コロンビアカルチャーin当代島(2回10人)・季節の和菓子作り(1回8人)・不思議な絵を描くボルディーとイタリア美術(1回1人)・ラクラク収納術講座(4回30人)・世界に一つしかないカシミアマフラーを作ろう(4回8人)・幼稚園子育てミーティング(8回29人)・小学校子育てミーティング(6回6人)				
		実績値	保育実施事業数	17事業	予算額	854千円	決算額
		評価	A	乳幼児を持つ保護者の学習の機会を確保するために、保育つきの主催事業を開催することは必要なことと考えます。参加者からも「保育があることで、安心して講座に参加できた」という声があります。また、保育される子どもの学びの場ともなっています。			
	平成28年度事業 予定と今後の 課題	次年度も引き続き、子育て世代の方々が様々な分野の講座に参加できるよう実施していきます。					
日の出公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	実績件数と実施予定数:17事業79回 実施内容:中学校家庭教育学級(11回)、小学校家庭教育学級(8回)、幼稚園家庭教育学級(9回)、子育て講座「賢い『子育て』は脳から」(1回)、ボランティア養成講座おはなし配達人講座(11回)、世界文学めぐり～日本文学～(5回)、文化祭実行委員会(4回)、いきいきWOMANのためのYOGAリラクゼーション(3回)、乳幼児家庭教育講座「ゆったり子育てのつぼ」(7回)、夏休み親子事業「親子deちくちく」(2回)、近現代女性史講座～戦後70年、時代をリードした女性たち～(3回)、更年期をさわやかに過ごすために～からだケア&ライフデザイン(4回)、これから始めたい人のための油絵教室(5回)、青少年センター共催事業「思春期を知ろう～子どもたちの心の理解と明るい未来に向かって」(3回)、日の出公民館伝統文化事業「早春のしらべー和」(1回)、ひなまつりスペシャルおはなし会(1回)、グローバルアカデミー～TPPが国内農業に与える影響と食生活について～(2回)				
		実績値	保育実施事業数	17事業	予算額	648千円	決算額
		評価	A	保育があることで、安心して参加でき、親同志の交流や情報の交換の場にもなっています。			
	平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、乳幼児を持つ保護者が安心して学習する機会を持つことができるように、保育付きの事業を実施します。					

事業番号	39	事業名	保育サービス評価事業(第三者評価)の実施		担当課	保育幼稚園課	
計画内容	保育園や認定こども園を対象に、千葉県に登録している評価機関に委託し第三者評価を平成27年度(5年に一度)に実施し、保育の質の向上を図ります。						
	第三者評価実施園数(5年に1度実施)	平成25年実績	12園 (H22年度)	平成29年目標	23園 (H27年度)	平成31年目標	32園 (H32年度)
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	＜公設公営＞公設公営7園の保育園で実施しました。12月に3園、1月に4園実施予定で、委託業者からの報告は3月末までに提出、その後、ホームページ等で公表する予定です。主な実施内容は、自己評価、利用者アンケート、訪問調査の3点での総合評価となります。					
	実績値	第三者評価実施園数(5年に1度実施)	3園	予算額	6,096千円	決算額	
	評価	A	第三者機関が、専門的かつ客観的な立場から評価することにより、各保育園のさらなる質の向上や、利用者に向けての情報提供を行います。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	平成28年度は実施予定はありません。5年に1度実施予定のため、次回は平成32年度です。						

### 3 次世代を担う子どもたちの教育、育成支援の充実

#### (1)生きる力を育む学校教育環境の充実

事業番号	40	事業名	こども教育未来センター整備事業	担当課	教育政策課		
計画内容	平成23年3月に策定した「こども教育未来センター基本構想」に基づき、「浦安の子どもたちが、これからの未来に向かって夢を持ち、今を豊かに生きることができる環境づくりのための拠点」となる、こども教育未来センター整備に向け、教育研究センターの機能の充実や子ども子育て支援のために必要な機能や施設、設備等の調査・検討を進めます。						
	こども教育未来センターの整備	平成25年実績	調整会議4回 研修会2回	平成29年目標	調査・検討	平成31年目標	調査・検討
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	「浦安の子どもたちが、これからの未来に向かって夢を持ち、今を豊かに生きることができる環境づくりのための拠点」となる、こども教育未来センター整備に向け、必要な機能や施設、設備についての検討を行うとともに教育委員会内の調整会議を行いました。また、今後の求められる教育や学校教育の在り方等について学ぶ研修会を3回開催しました。					
	実績値	こども教育未来センターの整備		予算額	120千円	決算額	
	評価	C	子どもの学びや育ちを支えるための機能の検討や、今日的な教育課題についての研修を実施することで、必要な行政の支援について、教育委員会事務局での共通理解を図ることができました。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	平成28年度も引き続き、こども教育未来センター整備に向けて、教育研究センターの機能の充実や子ども子育て支援のために必要な機能や施設、設備等の調査・検討を進めます。また、「こども教育未来センター基本構想」を策定した平成23年時点からは、子育て・教育を取り巻く状況が変わっているため、市の子ども子育ての計画等との整合を図りながら、現状にあったセンターの在り方について検討していきます。						

事業番号	41	事業名	学校適正配置の推進	担当課	学務課		
計画内容	児童・生徒の豊かな学びの環境を整備するため、「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」に基づき、大規模校の増築や小規模校の統合など学校適正配置を検討し、推進します。						
	学校適正配置(小学校/中学校)	平成25年実績	18校/8校	平成29年目標	17校/9校	平成31年目標	推進
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」に基づき、今年度、入船地区の学校統合により入船小が開校。美浜地区の学校統合については、当面の間と、一時凍結を決定したところです。					
	実績値	学校適正配置(小学校/中学校)	17校/9校	予算額	0円	決算額	
	評価	A	入船地区学校統合が完了し、その結果、美浜地区学校の過小規模の課題が改善され、学校統合の一時凍結が決定。市全域での適正配置について検討する必要性と検討課題を確認し、今後進めていくための計画を明確にしました。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	学校統合の是非を含め、市全域での学校施設の適正配置について、各課題に係る調査研究や他地域からの情報収集を行います。今後、学校区の見直しも視野に入れながら平成30年度からの10年間についての「第3次 本市における学校適正化に向けての基本方針」を策定していく必要があります。						

事業番号	42	事業名	少人数教育推進事業	担当課	指導課 学務課		
計画内容	子どもたちを少人数集団できめ細かく指導するために、市独自の少人数教育推進教員を全校に配置し、学校の実情に合わせて、チーム・ティーチングや少人数指導、習熟の程度に応じた指導など、わかる授業・できる授業づくりを推進します。また、少人数教育推進教員の研修会を行い、少人数教育の充実を図ります。						
	少人数教育推進教員人数	平成25年実績	63人	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
	少人数教育推進教員研修	平成25年実績	6回	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(指導課) 市立小・中学校26校全校に、「少人数教育推進教員」を各校1～3名配置しました。県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細かな指導を行いました。 研修会を年間6回開催し、教育活動の実践力向上を図りました。また、各学期に実践計画書及び実践報告書を作成し、PDCAサイクルにより、個に応じた指導を計画的・継続的・効果的に取り組みました。 少人数教育指導員が、学校訪問し、少人数教育推進教員の授業を参観し、指導し、教育活動の実践力の向上を図りました。</p> <p>(学務課) 各学校では、少人数教育のねらいである「わかる授業・できる授業」の達成をめざして、学校の実態、校内環境、少人数教育担当教員の実態や教科特性などを踏まえ、工夫をして実施しました。小学校では主に算数、中学校では主に数学、英語、保健体育で「TT」「習熟度別」「単純分割等」による少人数指導が行われました。</p>					
	実績値	少人数教育推進教員人数	53名	予算額	148,729千円	決算額	
		少人数教育推進教員研修	6回				
評価	A	<p>(指導課) 学校の実情に合わせて、チーム・ティーチングや少人数指導、習熟の程度に応じた指導など、わかる授業・できる授業づくりを推進することができました。県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細かな指導を行うことができました。</p> <p>(学務課) 各学期ごとの「少人数教育推進教員実践報告書」から、担任と相談しながら、わかりやすい授業の手だてを考えることができ、つまずきの把握や解消をすることができました。また、放課後、休み時間の補充授業や個別指導を行うことができました。</p>					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>(指導課) 単元ごとや学習のねらいに応じた指導形態の工夫、効果的な指導方法、教員間の連携の仕方などについて検討していく必要があります。学校訪問や各種研修会を通して、教員の教育活動の実践力向上をさらに図ります。</p> <p>(学務課) 協力教授(T・T)でなく、単純分割、習熟度別、課題別など、効果的な少人数教育ができるための教育課程や指導方法の工夫改善が必要です。 配置できる人数が減っている状況からも、実施学年、実施形態、実施教科などで、各学校が工夫改善を図り、少人数教育を進める必要性があります。</p>						

事業番号	43	事業名	ふるさとふれあい教育活動推進事業	担当課	指導課		
計画内容	各学校に設立されている学校教育活動支援協議会が行う、学校と地域の協働による「地域とともに子どもを育てる学校づくり」「一人一人の個性が輝く学校づくり」「地域に信頼され、開かれた学校づくり」等の教育活動を支援します。						
	浦安市教育ビジョンの実現を支え、地域ぐるみで学校を支援する仕組みの充実	平成25年実績	推進	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
平成27年度実施状況と評価	実施状況	各園・学校が「学校・地域連携推進事業」「多様な体験学習推進事業」「学力向上推進事業」「文化・芸術・スポーツ推進事業」「教科等研究指定校推進事業」「幼・保・小・中連携教育推進事業」をとおして、計画的に実施。					
	実績値	浦安市教育ビジョンの実現を支え、地域ぐるみで学校を支援する仕組みの充実	・市立全幼稚園・認定こども園・小学校・中学校で実施。(幼稚園6園、認定こども園8園、小学校17校、中学校9校)	予算額	14,600千円	決算額	
	評価	A	各園、学校において、「地域とともに子どもを育てる学校づくり」「一人一人の個性が輝く学校づくり」「地域に信頼され、開かれた学校づくり」に計画的に取組み、学校と地域の協働による特色ある教育活動が展開されました。				
平成28年度事業予定と今後の課題	浦安市教育ビジョンの実現のために更なる「地域に信頼され、地域とともに子供を育てる学校づくり」「一人一人の子どもが輝く学校づくり」を推進していきます。また、浦安市が推進する幼・保・小・中連携教育の充実を図ります。						

事業番号	44	事業名	ふるさとうらやす立志塾の開催	担当課	教育政策課		
計画内容	重						
	市立中学校の生徒会役員等を務める生徒を対象にし、宿泊を含む研修会において、政治、経済、教育、文化等の各分野で活動される方々と交流したり、体験活動や集団討議を行ったりすることにより、将来の浦安市のリーダーとして活躍する人材の育成をめざします。						
	立志塾研修参加者数(総数)	平成25年実績	72人	平成29年目標	180人	平成31年目標	234人
平成27年度実施状況と評価	実施状況	今年度は全6回の研修を行いました。2回の市内研修では「ふるさと浦安学習」の充実を図り、2泊3日の県外研修では、宮城県石巻市に加え、女川町、福島県双葉郡広野町を訪問し、被災や復興の状況を肌で感じ、被災地で活躍するリーダーや地域のために活動する高校生から話を聞きました。また、研修報告を兼ねた5周年記念行事を開催するとともに、5周年記念誌を作成し第1～5期の塾生及び講師等に配付しました。					
	実績値	立志塾研修参加者数(総数)	126人	予算額	4,811千円	決算額	
	評価	A	平成23年から開始した本事業は延べ126人の中学生が参加し、事業後には各学校のリーダーとして多くの生徒が活躍しています。平成26年度は9校中7校で、平成27年度は6校で本事業の卒塾生が生徒会長として活動しています。				
平成28年度事業予定と今後の課題	平成28年度は市内での1泊2日の宿泊研修を含む3回の研修と1泊2日の県外研修、研修報告の計6回の研修を行います。また、新たに小学生版のリーダー研修として、6年生を対象とした「短期山村留学」を実施します。						

事業番号	45	事業名	体力向上推進事業	担当課	保健体育安全課		
計画内容	市立小中学校の体育指導の充実と児童・生徒の体力向上を図る取り組みを推進するため、研究推進校を指定します。また、各市立小中学校で策定する体力向上年間計画に基づき、保健体育科をはじめ、学校行事や部活動などを通じて、児童・生徒の運動に対する理解や体力の向上を図ります。						
	研究指定校数	平成25年実績	11校	平成29年目標	8校	平成31年目標	8校
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	平成27年度は、小学校6校(浦安、東、南、入船、高洲北、美浜北)、中学校5校(浦安、入船、堀江、明海、高洲)合計11校を指定しました。この「体力向上推進校」を中心として、すべての小・中学校において、体力向上推進計画をもとに体力向上の取組を実施しています。また、11校の研究実践の状況について資料による報告及び、指定最終年度を迎える5校については実践発表を行い、市内小中学校全体に成果を広めました。					
	実績値	研究指定校数	11校	予算額	890千円	決算額	
評価	B	浦安市の子どもの体力については、低下傾向に歯止めがかかっているといえるものの、全国平均と比較すると下回る種目が多くみられます。また、積極的に運動する子どもとそうでない子どもとの二極化の状況もあります。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、すべての市立小中学校において計画的に児童・生徒の体力向上の取り組みを実践するとともに、市が指定する「体力向上推進校」を核として積極的な実践交流を行い、実践の成果を市内全体に広げます。また、浦安市内中学校区ごとに体育科教育に関する課題と今後の取り組みについて検証し、意見交換の場を設けることで今後の実践の礎とします。						

事業番号	46	事業名	生命や健康、性教育についての知識の普及推進	担当課	保健体育安全課		
計画内容	浦安市小中連携・一貫教育カリキュラムとの整合性を図りながら、市立小中学校における生命や健康、性教育に関する保健学習を充実します。また、助産師や保健師、専門医などの活用による生命誕生や感染症予防、性被害防止に関する啓発や教育を推進するため、各市立小中学校におけるいのちの教育講演会や学校保健委員会への助成、並びに保健所など関係機関との連携を推進します。						
	保健学習実施校数	平成25年実績	26校	平成29年目標	26校	平成31年目標	26校
	学校保健委員会実施あるいはいのちの教育推進事業実施校	平成25年実績	26校	平成29年目標	26校	平成31年目標	26校
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>●性教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健年間計画の保健教育に性教育の内容を位置づけ、学年の発達段階に応じた指導案及び資料に基づき、正課授業および特別活動等において計画的な指導を実施しています。</li> </ul> </li> <li>●いのちの教育講演会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちの教育推進事業に基づき、指定学年(基本は小学5学年、中学2学年)の児童生徒を対象に実施する「いのちの教育講演会」が各小・中学校の学校保健年間計画に位置付けられ、開催が定着してきています。</li> <li>・上記の指定学年以外については、学校保健委員会等を活用して開催されています。</li> <li>・助産師、産婦人科医等の外部専門家の講師活用により、生命誕生や感染症予防に関する理解が深まりました。</li> </ul> </li> </ul>					
	実績値	保健学習実施校数	26校	予算額	580千円	決算額	
		学校保健委員会実施あるいはいのちの教育推進事業実施校	17校				
評価	B	いのちの教育推進事業に関する「いのちの教育講演会」は、全小・中学校での開催を予定しているが、開催できていない学校があります。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	児童生徒のいのちと心と体の健康推進に向け、専門家を活用したいのちの教育講演会や、学校の健康課題にあわせた学校保健委員会の開催に、引き続き取り組みます。						

## (2)放課後児童の居場所づくり

事業番号	47	事業名	児童育成クラブの整備・充実	担当課	青少年課		
重 事 計画内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校1～4年生までの児童と、6年生までの療育手帳などの交付を受けている特別な支援が必要な児童を対象に、放課後の生活の場を提供し、遊びなどを通じて健全な育成を図ることを目的として、児童育成クラブの運営を引き続き行います。また、入会児童の増加により既存のクラブによる対応が困難である場合には、小学校の余裕教室等の活用を第一に対応を図っていきます。						
	建物数	平成25年実績	28カ所	平成29年目標	32カ所	平成31年目標	32カ所
	利用者数	平成25年実績	1,603人	平成29年目標	2,017人	平成31年目標	1,894人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	入会児童数の増加に伴い、施設の狭隘化への対応を図るため、小学校の余裕教室などの活用を行い、待機児童が生じないよう対応を図っています。 また、子どもたちが利用する児童育成クラブ施設において、生活環境の改善を図るために、劣化や不具合などに対して、引き続き補修を行っています。					
	実績値	建物数	32カ所	予算額	703,393千円	決算額	
		利用者数	1,933人				
評価	A	入会児童数の増加に伴い、児童育成クラブ施設の整備を行い、子どもと家庭を支援する子育て環境づくりに大きく寄与しています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	浦安小学校地区児童育成クラブ等整備事業 南小学校地区児童育成クラブ整備事業(実施計画等)						

事業番号	48	事業名	児童育成クラブに係る評価事業の実施	担当課	青少年課		
計画内容	児童育成クラブの保育の質を向上するため、児童育成クラブに係る事業者自己評価及び利用者調査を実施します。						
	対象クラブ数	平成25年実績	18クラブ	平成29年目標	17クラブ	平成31年目標	17クラブ
	対象利用者数	平成25年実績	1,581人	平成29年目標	2,017人	平成31年目標	1,894人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	・事業者自己評価：市内の児童育成クラブ17クラブの運営事業者に対して実施予定 ・利用者調査：各児童育成クラブに入会している児童(利用者)及び保護者を対象に実施予定					
	実績値	対象クラブ数	17クラブ	予算額	1,512千円	決算額	
		対象利用者数	1,589人				
評価	A	平成28年2月に調査実施予定					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	クラブを利用する児童とその保護者には、サービスについて日頃から感じていること等アンケート調査を実施し、結果を事業者にフィードバックするとともに、サービス向上に努めるよう指導しています。また、事業者が自己評価し、良い点や改善が必要な点を把握することにより支援の質の向上を図っています。						

事業番号	49	事業名	児童センター事業の充実	担当課	こども課 児童センター		
計画内容	東野児童センターと高洲児童センターの2か所で、遊びを通じた子どもの育ちを支援するための各種事業を行います。また、全市的に児童が利用しやすい環境を充実するため、学校の余裕教室の活用や公共施設の老朽化に伴う建替え時などの機会を捉え、児童センター機能の導入を検討します。						
	延べ利用者数	平成25年実績	90,724人	平成29年目標	91,000人	平成31年目標	91,000人
	新規児童センター機能の導入	平成25年実績	—	平成29年目標	検討	平成31年目標	検討
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(こども課) 放課後の児童の居場所づくりと子育て支援を目的に、児童が自由に遊べる環境を提供し、子育て中の親子の交流や子育て相談・情報の提供を行う場として、東野児童センター及び高洲児童センターの2ヶ所を開所しています。 また、新規の児童センター機能の導入にあたっては、未実施です。 (児童センター) 乳幼児から18歳未満のこどもを対象に、地域と連携して事業を実施し、様々な支援をしています。乳幼児の母親同士の交流の場や子どもが安心できる居場所づくりを目指し、家族一緒に参加できる環境を整え、利用者を見守っています。利用者の様子や相談などから、専門の担当部署につなげる役割も果たしています。</p>					
	実績値	延べ利用者数	—	予算額	—	決算額	
		新規児童センター機能の導入	検討				
評価	B	<p>(こども課) 中町及び新町地区には児童センターが設置されているが、元町地区の整備が実施できていない状況です。 (児童センター) 子育て支援事業は定着してきており、多数参加しています。母親はネットで多くの情報を収集し、積極的に参加しています。こども育成事業は、アンケートを参考に新規事業に挑戦しています。また、子育てに悩みを抱える母親、家族関係で悩むこどもたちに寄り添う支援をしています。</p>					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>(こども課) これまで市内では、中町及び新町に2か所の児童センターを運営しており、元町地区の整備には至っていない状況であり、市民の方からは、元町地区への整備を望む声もあります。今後の児童センターの整備にあたっては、浦安小地区に通年を通して放課後異年齢児交流促進事業がないことから、併せて、放課後の居場所についての検討を引き続き行い、既存施設の大規模改修時や新設整備などに設置ができるよう進めていく必要があります。 (児童センター) 児童センターを多くの人に周知してもらえるよう働きかけ、人気のある事業は見直しをしながら継続し、また新しいアイデアを考え利用者に楽しんでもらえるよう努めます。次年度は参加者が増えるよう充実した事業を実施します。</p>						

事業番号	50	事業名	放課後異年齢児交流促進事業の充実	担当課	青少年課		
重 計画内容	市内5小学校区において引き続き学校施設等を利用して児童の放課後の遊び場を確保するとともに、異年齢児間の交流やスポーツ、書道などの学習活動、各種工作などの体験を通じて、児童の健全な育成を図ります。また、未実施の小学校区においても通年または夏季休業期間中の実施を推進します。						
	実施校数	平成25年実績	5校	平成29年目標	14校	平成31年目標	17校
	延べ利用者数	平成25年実績	45,000人	平成29年目標	166,000人	平成31年目標	257,000人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	学校施設等を利用して「遊び場」を確保し、異年齢児間の交流やスポーツ、書道などの学習活動、各種工作などの体験を通じて、児童の健全な育成を図っています。今年度は、市内7小学校(東小、南小、日の出小、明海小、入船小、北部小、富岡小)で通年実施しています。また、夏季休業期間限定では市内10小学校(浦安小、見明川小、美浜南小、舞浜小、美浜北小、高洲小、日の出南小、明海南小、高洲北小、東野小)の全17小学校で開設しました。					
	実績値	実施校数	17校	予算額	76,480千円	決算額	
		延べ利用者数	30,733人				
評価	A	日常的な遊びだけでなく、工作やスポーツなどの様々なイベントなどの事業を開催し、充実した放課後の異年齢間交流を図っています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、通年実施の7小学校に、新たに2小学校(日の出南小、明海南小)を通年開設します。また、夏季休業期間のみに8小学校(浦安小、見明川小、美浜南小、舞浜小、美浜北小、高洲小、高洲北小、東野小)を含めた全17小学校で開設し拡充を図っていきます。						

事業番号	51	事業名	青少年館・青少年交流施設事業の充実	担当課	青少年課		
計画内容	小学生から22歳以下の青少年が、自由に集い自主的に活動できる施設として「青少年館」の活用を図るとともに、中高生向けの事業の充実を図ります。また、青少年の社会参加への意欲を創出するため、青少年交流施設(新浦安カルチャープラザ)において芸術・音楽・文化などの各種体験教室等を実施するとともに、青少年の自主的活動への積極的な支援を図ります。						
	青少年館延べ利用者数	平成25年実績	45,980人	平成29年目標	50,000人	平成31年目標	51,000人
	青少年交流施設延べ利用者数	平成25年実績	34,655人	平成29年目標	36,000人	平成31年目標	37,000人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	(青少年館) 指定管理者の提案に基づき、管理運営を行っています。 (青少年交流施設) 青少年の居場所作りとして、マーレ内3階部分に新浦安カルチャープラザを設置し、放課後や休日における青少年の活動・交流を中心として、芸術・音楽・文化をキーワードに、青少年が様々な活動に 参加しやすい講座やイベントなど様々な事業を展開しています。					
	実績値	青少年館延べ利用者数	39477人	予算額	97,952千円	決算額	
		青少年交流施設延べ利用者数	24192人				
評価	A	(青少年館)指定管理者と協議し、適正な運営に努めています。 (青少年交流施設)引き続き、講座で使用していない部屋を無料で学習室として提供したり青少年広場の遊具を充実させるなど青少年が、気軽に集える空間を作り、利用促進を図っています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	(青少年館) 引き続き利用者増が見込めるような自主事業を展開し、施設の管理運営を行います。 (青少年交流施設) 引き続き施設の利用促進を図るため、青少年の居場所づくりなどを目的とした広場の管理運営を行います。						

### (3)子どもの豊かな個性と想像力を伸ばす機会の充実

事業番号	52	事業名	ふれあい体験「赤ちゃんとおそぼう」事業	担当課	児童センター		
重 基 計画内容	小学5・6年生、中学生、高校生が赤ちゃんにふれあい、赤ちゃんとの関わり方や育児について知る機会を充実します。また、助産師・上級思春期保健相談士を講師とし、命についての性教育を行います。						
	開催回数	平成25年実績	—	平成29年目標	6回	平成31年目標	6回
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	夏休み期間中に6回実施し、90名の小中高生が参加。赤ちゃんとその保護者は、のべ157組。命の大切さについて改めて考え、自分や他者を大切にしたいという意見が多く聞かれています。妊婦体験ジャケットを着けたり、出産時のビデオを視聴することで、妊婦に対して優しい気持ちになり、母親には感謝の気持ちが持てたようです。また、将来や今後のことについて考えるきっかけにもなっています。					
	実績値	開催回数	6回	予算額	210千円	決算額	
		評価	A	普段関わることのない世代をつなぐことで、赤ちゃんや思春期の子ども、母親への相互理解が深まり、地域の子育て環境が良いものとなると考えます。受講した子どもたちからは、将来赤ちゃんを産み育ててみたいという声が多く聞かれています。			
平成28年度 事業予定と 今後の課題	当初は平成32年までの毎年、重点地域を決め、対象学校には小学5年生以上の全生徒にリーフレット配布を考えていましたが、重点地域となるまでに対象年齢を過ぎてしまうことや、定員を上回る応募がなかったことから、次年度は市内全小中高校の対象年齢全員にリーフレットを配布し、できる限り多くの参加者を募ります。						

事業番号	53	事業名	ブックスタート事業の実施	担当課	中央図書館		
計画内容	出生届受理の際に記念品として絵本を配布し、生後4か月以降にブックスタート絵本講座を実施します。絵本を介して、親と子が心とことばを通わせ、親子の絆を深めるとともに、乳幼児に読書の基礎となる絵本の大切さ、楽しさを伝えることを支援します。						
	講座参加率	平成25年実績	22.90%	平成29年目標	25%	平成31年目標	27%
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	出生届受理の際に配布した絵本は902冊で、配布率は91%。毎月第2金曜日午後12時に開催しているブックスタート絵本講座は12月末現在36回248組517人が参加、参加率25%となっています。講座の開催時に、図書館利用券の発行をすすめ、継続的な図書館利用につなげています。					
	実績値	講座参加率	25%	予算額	810千円	決算額	
		評価	A	参加率の目標は達成したが、さらに参加率を引き上げる工夫を継続します。			
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、絵本の配布及び、ブックスタート絵本講座を開催していきます。中央図書館内で子育てに役立つ本がどこにあるかの案内図を作成し、それを使った案内を進めます。						

事業番号	54	事業名	子育て家庭向け図書館事業の充実	担当課	中央図書館		
計画内容	子どもにとっての読書の大切さを伝えることを目的に、資料の選定や紹介、読書相談、子どもと読書に関する研修の講師派遣などを行います。また、児童を対象とした集会事業や、子どもに関わる機会の多い大人を対象とした講座や講演会を実施します。						
	児童書貸出冊数	平成25年実績	458,004冊	平成29年目標	470,000冊	平成31年目標	480,000冊
	児童集会事業 延べ参加者数	平成25年実績	9,046人	平成29年目標	9,500人	平成31年目標	9,800人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	児童書貸出冊数、集会事業参加者数とも昨年同時期に比べ増加している。祖父母や父親からの問い合わせも増えており、読書相談がますます重要になっています。集会事業も、開催時間の変更や内容の見直しなどを行うことにより、参加者の増加につながっています。					
	実績値	児童書貸出冊数	343,874冊	予算額	160千円	決算額	
		児童集会事業 延べ参加者数	6,969人				
評価	A	図書館の基本的なサービスとして、日常的に取り組んでいます。家庭で読書に親しむことで、読書力の向上だけでなく、読書を通じた親子の交流が促進されることをめざします。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続きサービスを継続します。しかし、出生者数や児童数の減少もあり、目標の達成については難しい面も出ています。図書館利用の促進のため、子どもの生活の変化や保護者の要望をとらえながらサービスを進めていきます。						

事業番号	55	事業名	うらやすこども大学の実施	担当課	生涯学習課		
計画内容	市内在住の小学校4年生～5年生を対象に、市内の大学等と連携しながら、その専門性を活かして、子どもたちの「なぜ？」という探究心に可能な限り応え、未来の浦安を担う子どもたちを育成することを目的に開催します。						
	延べ受講者数	平成25年実績	266人	平成29年目標	350人	平成31年目標	500人
	修了者率	平成25年実績	95.60%	平成29年目標	100%	平成31年目標	100%
	他機関・団体との連携数	平成25年実績	3団体	平成29年目標	7団体	平成31年目標	10団体
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	8月～12月の間に、市内大学(明海・了徳寺・順天堂大学)や市と包括連携の協定を締結している明治大学や千葉工業大学と連携して、全7回の授業を実施しました。最終の授業では特別講演会として元プロ女子サッカー選手でなでしこジャパンでも活躍された、矢野喬子氏に文化会館小ホールでご講演いただきました。					
	実績値	延べ受講者数	304人	予算額	606千円	決算額	
		修了者率	88.20%				
他機関・団体との連携数		7団体					
評価	A	本事業は平成25年度より事業を開始してきましたが、昨年度より実施回数を増やし、より多くの機関と連携して実施してきました。今年度は授業における連携先が増加した他、ボランティアとして浦安高校の生徒に授業補助に入っただけなど、昨年度より多くの機関と連携して実施することができました。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	平成27年度と同様に8月～12月の期間に実施していきます。現在は市内外の大学と主に連携して開催していますが、今後は市内の団体や企業とも連携しながら実施していきます。課題としては、特別講演会の実施形態(講師・場所等)について検討していく必要があります。						

事業番号	56	事業名	子どもの自由な遊び場の整備	担当課	青少年課		
重 計画内容	子どもたちが伸び伸びと自由に遊び、様々な体験や交流を通じて創造性や自主性を育むことができるよう、高洲地区に「(仮称)こどもの広場」を整備します。また、第二湾岸道路未利用地についても、子どもの遊び場として有効活用できるよう引き続き検討を行います。						
	設置箇所数	平成25年実績	—	平成29年目標	1箇所	平成31年目標	1箇所
	第二湾岸道路未利用地の活用検討	平成25年実績	—	平成29年目標	検討	平成31年目標	検討
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	平成27年10月整備完了・供用開始					
	実績値	設置箇所数	1箇所	予算額	0千円	決算額	
		第二湾岸道路未利用地の活用検討	検討				
評価	A	事業完了、今後は指定管理により運営を行います。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	指定管理者による運営を行います。更なる施設の周知を図り、市内全域からの利用者の来場を目指します。						

事業番号	57	事業名	子育て家庭向け郷土博物館事業の充実	担当課	郷土博物館		
計画内容	郷土博物館において、幼児、児童、生徒を対象とした体験を通じて向学心を育むための様々な事業の充実を図ります。						
	事業数	平成25年実績	79事業	平成29年目標	80事業	平成31年目標	80事業
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博学連携事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園: 博物館展示の見学・昔遊びや、べか舟乗船体験などを通して、博物館に興味を持ち、浦安の文化に親しむ。</li> <li>○小学校: 昔遊び・昔の生活体験、海苔すき体験、海苔簀織みなど。</li> <li>○中学生: 職場体験への協力など。</li> </ul> </li> <li>・その他の事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>○昔遊びと生活体験: ベーゴマ、こま、竹馬、お手玉、わらべうた</li> <li>○体験教室: 勾玉づくり、竹細工教室、貝殻細工教室、お手玉・ねつけづくり教室、郷土料理教室、かまどの日イベント、ぼったら体験、境川乗船体験 など</li> <li>○季節の行事体験: 七夕飾り、お月見、大掃除、餅つき、正月遊び、豆まき、オオカンケ</li> </ul> </li> </ul>					
	実績値	事業数	78事業	予算額	4,295千円	決算額	
評価	A	事業数については、開館日との兼ね合いもあることから、実質横ばいです。開館スケジュールを鑑みると、事業数については既に限界点に近いことから、同程度で継続できればよいと考えています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	事業数に関しては上記のとおりであるが、事業内容については、今後も精査を行い、積極的に改善をすることで、子どもをはじめとした、市民及び利用者の方々にもふるさと浦安を学ぶ場として活用して頂きたいです。						

事業番号	58	事業名	子育て家庭向け公民館事業の充実	担当課	各公民館		
計画内容	各公民館において、乳幼児親子・子どもを対象とした事業を企画・実施し、各種教室や交流事業を実施します。						
	事業数	平成25年実績	175事業	平成29年目標	186事業	平成31年目標	194事業
	延べ参加者数	平成25年実績	17,899人	平成29年目標	18,400人	平成31年目標	18,950人
高洲公民館	平成27年度実施状況と評価	実施状況	未就学児とその親を対象にした情緒・交流事業として、「おはなしのへやまめっちょ」「おはなしの森」を実施し、177名が参加した。また、夏休み等学校休業日を利用した体験・交流事業として「ハーモノカ教室」「絵本を作ろう」「科学講座」等を実施し、742名が参加しました。				
		実績値	事業数	18事業	予算額	450千円	決算額
			延べ参加者数	919人			
	評価	A	親子で遊べる広場や絵本等の読み聞かせの実施など様々な子育て支援のニーズに対応し、利用実績も伸びています。また、夏休み期間中の体験・交流事業では、多くの子どもたちが参加し、よって事業の目標達成に向け概ね順調に進捗しています。				
平成28年度事業予定と今後の課題	親子の触れ合いや親同士のつながりを深めるため、今後も負担のない範囲で実施していきたい。また、子どもの健全な育成を図るため、体験活動や交流事業の充実に努めます。						
中央公民館	平成27年度実施状況と評価	実施状況	①実績件数と見込み件数：42事業192回 ②実績内容：1歳児親子遊び教室(5回)・2歳児親子遊び教室(5回)・浦安小学校子育てミーティング(6回)・東小学校子育てミーティング(11回)・神明幼稚園子育てミーティング(9回)・若草幼稚園子育てミーティング(8回)・うらやす子育てミーティング「～素敵なパパママになろう～」(4回)・産前産後版子育てミーティング(9回)・魅力的な親になろう5(3回)・郷土博物館共催事業「郷土料理教室(貝むき)」(1回)・中央公民館お泊り会in県民の日(1回)・県民の日「浦安まるごと子ども広場」(1回)・こどもルームin中央(26回)・科学って楽しいぞ♪(7回)・猫実@寺子屋(7回)・わくわく体験教室(16回)・親子のほっとカフェin猫実(10回)・うらやす子育てミーティング運営会議(7回)・防災ピクニック振り返り(2回)・サマープレスクールin中央(1回)・エコ仲間♪うらやす企画講座「自然に触れよう」(1回)・郷土博物館共催事業「わらざうりづくり体験・わらざうりを履いて市内めぐり」(2回)・CM制作のお仕事～現場編～(3回)・子ども川柳講座(3回)・猫実キッズ和工房(3回)・車両基地を見学に行こう4(2回)・「ひつじの毛は何になる！？－スピンドルをまわして糸をつむごう－」(1回)・「恐竜について学ぼう」(2回)・サマースクールin中央①(1回)・サマースクールin中央②(2回)・中央公民館お泊り会inSummer(1回)・夏休み映画会「ヒックとドラゴン2」(1回)・体育館夏休み子ども開放(6回)・プレうらやす子ども起業塾(1回)・うらやす子ども起業塾(17回)・鉄道模型を楽しもう(1回)・手作りハロウィンパーティー～仮装して集合～(1回)・子育てママの文化祭！プリズムフェスタ2015(1回)・世界に一つの手作りしめ飾り(1回)・オータムスクール(1回)・うらやす子育てミーティング「～素敵なパパママになろう～」キッズ講座(2回)・「かみさまのやくそく～胎内記憶を語る子どもたち」上映会(1回)				
		実績値	事業数	42事業	予算額	957千円	決算額
			延べ参加者数	4715人			
	評価	A	主に、子どもの居場所づくり、また、社会性や表現力などこれから社会に出ていくために必要な事を学ぶ事を目的として開催しています。特に連続して参加する講座をし、子ども達がより深く交流し学べるよう心がけています。実際に起業体験ができる子ども起業塾も好評を得ています。				
平成28年度事業予定と今後の課題	平成28年度も、引き続き、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施していきます。さらに、連続講座に力をいれます。						

堀江公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>①実績件数と見込み件数:22事業77回            ②実績内容:おひさまクラブⅠ(18回)・おひさまクラブⅡ(17回)・親と子のずくぼんじょ(10回)・おはなしのへや「たけんこ」(10回)・郷土博物館共催事業「樹木観察会」(1回)・郷土博物館共催事業「わらぞうりづくり体験・わらぞうりを履いて市内めぐり」(1回)・子ども陶芸教室A(1回)・子ども陶芸教室B(1回)・夏休みおはなし会・午前の部(1回)・夏休みおはなし会・午後の部(1回)・子ども草木染体験(1回)・夏の科学遊び・午前の部(1回)・夏の科学遊び・午後の部(1回)・子ども紙粘土教室(1回)・和太鼓体験会(1回)・堀江のクリスマス会・午前の部(1回)・堀江のクリスマス会・午後の部(1回)・鬼はそと!春はうち!子ども新春豆まき&amp;お茶会(1回)・親子お琴体験講座(5回)・たいこをたたこう(1回)・子どものための春のつどい(1回)・子ども草木染体験(1回)</p>				
		実績値	事業数	22事業	予算額	630千円	決算額
			延べ参加者数	1516人			
	評価	A	異学年交流や居場所づくりで、思いやりの気持ち、協力しあう気持ちなどが芽生えます。夏休みの事業は、応募者も多く、子どもたちも喜んできており、居場所づくりにもなっています。				
平成28年度事業予定 と今後の課題	引き続き機会と内容の充実を図っていきます。						
富岡公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>実績件数:15事業66回            実績内容①親子で楽しむわらべうたと絵本の会(8回)・②とみおかジュニア囲碁ひろば(22回)・③ランニング講座「美走塾」前期(6回)・④ランニング講座「美走塾」後期(6回)・⑤県民の日子どもイベント(2回)・⑥子どもグラワーアレンジメント(1回)・⑦父の日はオリジナルゲーム盤で遊ぼう(1回)・⑧夏休み子ども茶道教室(2回)・⑨わらぞうりづくり体験(2回)・⑩郷土料理教室(1回)・⑪夏休み子ども環境講座(1回)・⑫夏休み子ども折紙教室(1回)・⑬夏休み親子でそば打ち体験(1回)・⑭夏休みクラフトバンド教室(1回)・⑮夏休み子ども折り紙教室(1回)・⑯平和映画会(1回)・⑰なかよしコーナー(1回)</p>				
		実績値	事業数	15事業	予算額	1,139千円	決算額
			延べ参加者数	1585人			
	評価	A	今年度においては、改修工事に伴い、事業の実施については、ほとんどが8月までの実施となっています。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	28年度については、過年度と同様のレベルで実施したいです。「とみおかジュニア囲碁」は廃止します。また、ランニング講座「美走塾」については、今まで富岡小1校で開催していたが、見明川小も実施することが決まり2校での開催となります。						
美浜公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>実績件数:27事業77回            大きな声でたのしく音どく(8回)、みはまミュージッククラブ(20回)、県民の日子ども事業「思いっきりプレーパーク」(1回)、県民の日事業「けん玉」(1回)、県民の日事業「ヘルスパレーボール」(1回)、県民の日事業「クイズ&amp;スタンプラリー」(1回)、県民の日事業「子ども映画会」(1回)、子ども夏祭り(1回)、小学生英会話(5回)、親子ドレミ教室春・秋(各5回)、親子でそば打ち体験春・冬(各1回)、来てみて!遊ぼう!みはま缶(4回)、影絵劇場(1回)、影絵劇で遊ぼう(1回)、夏休み子どもミサンガ教室(1回)、夏休み子ども科学教室(1回)、夏休み子どもグラウンドゴルフ教室(2回)、夏休み子ども木工教室(1回)、わらぞうりづくり体験(1回)、夏休み子ども事業「葉っぱでスタンプ!~葉っぱ図鑑を作ろう~」(1回)、夏休み子どもエコ講座(2回)、夏休み子ども平和映画会(1回)、日本の伝統文化「琴」にチャレンジ!(8回)、思いっきり!プレーパーク秋(1回)、親子で見るプラネタリウム(1回)</p>				
		実績値	事業数	27事業	予算額	780千円	決算額
			延べ参加者数	3611人			
	評価	A	子ども事業は、他課や地域との連携を心がけて行いました。子ども達も徐々に公民館に慣れ親しんできているように思われます。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、子どもの居場所づくりのために、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施していきます。						

当 代 島 公 民 館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	①実績件数:17事業32回 ②実績内容:母の日をプロデュース(1回)・トールペイント講座(1回)・千葉県民の日当代島公民館で遊ぼう(1回)・当代島軽スポーツクラブ(8回)・お菓子作りに挑戦(1回)・夏休み子ども環境講座(2回)・夏休み子ども人形劇(1回)・夏休み子ども陶芸教室(4回)・草木染でエコバックを作ろう(1回)・親子でクッキング(2回)・夏休み子ども工作教室(2回)・夏休み子ども科学(2回)・秋の青空おはなし会(2回)・消しゴムDeスタンプを作ろう(1回)・たこ作りに挑戦(1回)・クリスマスを生け花で飾ろう(1回)・クリスマスケーキを作ろう(1回)				
		実績値	事業数	17事業	予算額	400千円	決算額
			延べ参加者数	769人			
評価	A	特に、夏休みの事業は、応募者も多く、子どもたちに喜んでもらって、居場所づくりになっています。					
	平成28年度 事業予定と 今後の課題	次年度も、引き続き、休日、長期休み等の親子・子ども対象事業を実施していきます。					
日 の 出 公 民 館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	実施件数と実施予定数:29事業117回 実施内容:おひざでだっこのおはなし会(10回)、3歳・4歳のためのおはなし会(10回)、おはなしのへや(キンダー編)(10回)、ニイニのへや(10回)、夏休み子ども将棋教室…まずはルールから!!(3回)、県民の日子ども事業(1回)、〈ほん〉たんけんクラブ(13回)、〈ほん〉たんけんクラブ公開講座「科学は身近」(1回)、ひのでこどもミニシアター(12回)、親子のくつろぎスペース「ほっこり」(12回)、お父さんいつもありがとう~作って贈ろうカラージュポード(1回)、お父さん出番ですよ!~おかあさんいつもありがとう(1回)、夏休みの宿題をやっつけろ!(5回)、キッズ★フォトグラファーになろう(2回)、郷土博物館共催事業わらざうりづくり体験・わらざうりを履いて市内めぐり(2回)、郷土博物館共催事業海苔すき体験(1回)、郷土博物館共催事業海苔巻きづくり(1回)、お父さん出番ですよ「子どもと一緒に休日ランチを作ろう」(3回)、おやこdeはぐのび(5回)、クリスマス会(1部・2部1回ずつ)、日の出・明海地区小中学校絵画展(1回)、夏休み子ども陶芸教室(3回)、夏のおいしいおはなし会(午前・午後1回ずつ)、夏休み子ども工作教室「組立式紙ひこうきを作って、飛ばしに行こう!」(1回)、夏休み親子事業親子バスツアー-deピース~東京大空襲・戦災資料センターを見学しよう(1回)、子ども凧作り教室-江戸だこを作って揚げよう(2回)、ひなまつりスペシャルおはなし会(1回)、日の出・明海地区小中学校書初め展(1回)				
		実績値	事業数	29事業	予算額	489千円	決算額
			延べ参加者数	2475人			
評価	A	異学年交流や居場所づくりで、思いやりの気持ち、協力しあう気持ちなどが芽生えます。夏休み期間に実施した事業では、子どもの想像力、新たな可能性を引き出せる事業を行いました。					
	平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き機会と内容の充実を図っていきます。					

事業番号	59	事業名	家庭・地域教育力を高める公民館事業の充実		担当課	各公民館	
重 計画内容	各公民館において、家庭教育学級や子育てをテーマとした講座の開催、子育てサークル同士の交流活動を推進します。また、地域住民や企業、NPO等と連携しながら、青少年の健全育成に向けた地域活動を推進します。						
	事業数	平成25年実績	49事業	平成29年目標	68事業	平成31年目標	77事業
	延べ参加者数	平成25年実績	22,083人	平成29年目標	23,190人	平成31年目標	23,690人
高洲公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	家庭教育の支援及び地域教育の活性化を図るため、「家庭教育学級」「家庭教育講演会」「赤ちゃん育児応援講座」「郷土博物館共催事業」「文化祭」等を実施しました。				
		実績値	事業数	18事業	予算額	520千円	決算額
			延べ参加者数	7489人			
	評価	A	様々な機会を活用した家庭教育に関する講座や青少年のための活動の場づくり事業を実施し、目標達成に向け概ね順調に進捗しています。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	家庭・地域教育力の向上のため、今後も家庭との一体的な事業実施を目指すとともに、地域社会における子どもたちの居場所づくりを支援していきます。						
中央公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	①実績件数と見込み件数:22事業153回 ②実績内容:2歳児親子遊び教室(5回)・浦安小学校子育てミーティング(6回)・東小学校子育てミーティング(11回)・神明幼稚園子育てミーティング(9回)・若草幼稚園子育てミーティング(8回)・うらやす子育てミーティング「～素敵なパパママになろう～」(4回)・産前産後版子育てミーティング(9回)・魅力的な親になろう5(3回)・防災ピクニック(2回)・うらやす子育てミーティング運営会議(7回)・かみさまのやくそく～胎内記憶を語る子供たち～上映会(1回)・子育てママの文化祭！プリズムフェスタ2015(1回)・親子のほっとカフェin猫実(10回)・中央公民館お泊り会in県民の日(1回)・県民の日「浦安まるごと子ども広場」(1回)・こどもルームin中央(26回)・科学って楽しいぞ♪(7回)・猫実@寺子屋(7回)・わくわく体験教室(16回)・中央公民館お泊り会inSummer(1回)・プレうらやす子ども起業塾(1回)・うらやす子ども起業塾(17回)				
		実績値	事業数	22事業	予算額	612千円	決算額
			延べ参加者数	3702人			
	評価	A	子どもたちの健やかな成長と生きる力を育むため、親としての役割や家庭での子育てについて再確認すること、また、社会状況や子どもの発達段階における課題について、家庭ではどのような教育を行えばよいのか、講義やディスカッションを通して学び得た知識を家庭や地域に反映すること、仕事も子育ても夫婦関係も充実して生き生きと暮らしていくためにまず自分を一人の大人として見つめ直し、自分たちの生活・子育てで親育ちについて向き合っていたり、機会となりました。また、企画・運営に地域の方達に参加していただき、市民ニーズに近い学びを提供する事ができました。週末開催の講座では、未就学児のお子さんには保育、小学生にはキッズ講座をご用意しご家族みんなが公民館で過ごせるような講座にしております。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	平成28年度は、さらに多くの地域の方に参加していただき、より市民ニーズにそった、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していきます。						
堀江公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	①実績件数と見込み件数:4事業33回 ②実績内容:みなみ・堀江・舞浜こども園・吹上幼稚園合同家庭教育学級(14回)・南・舞浜小学校合同家庭教育学級(14回)・子育て支援講座「子どもが言葉をはぐくむとき」(1回)・子育て支援 パパママ応援!!(4回)				
		実績値	事業数	4事業	予算額	260千円	決算額
			延べ参加者数	515人			
	評価	A	連続講座で行うことで参加者の連帯感、つながりができました。また、子育ての悩みを共有したり、意見しあうことで視野が広がってきています。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していきます。						

富岡公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	大規模改修工事(平成27年10月～平成28年6月16日)のため、今年度については実施しませんでした。				
		実績値	事業数	0事業	予算額	140千円	決算額
			延べ参加者数	0人			
	評価	-	家庭教育学級については、参加者が少なく学級として成立しなかった事と、改修工事による休館のため事業ができませんでした。				
	平成28年度 事業予定と 今後の課題	28年度(6月まで休館)においては、計画内容に沿った事業の展開を考えていく予定です。					
美浜公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	実績件数:4事業34回 小学校子育てミーティング(14回)、幼稚園子育てミーティング(14回)、子どもと向き合う。自分と向き合う??(4回)、平和人権講座(2回)				
		実績値	事業数	4事業	予算額	200千円	決算額
			延べ参加者数	416人			
	評価	A	子育て支援講座は、連続講座で行うことで参加者の連帯感、つながりができたようです。また、子育ての悩みを共有したり、意見しあうことで視野が広がってきているように感じます。				
	平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していきます。					
当代島公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	①実績件数:2事業17回 ②実績内容:幼稚園子育てミーティング(8回)・小学校子育てミーティング(9回)				
		実績値	事業数	2事業	予算額	100千円	決算額
			延べ参加者数	103人			
	評価	A	子どもたちの健やかな成長を育むため、親としての果たす役割や家庭での子育てについて考えること、そして、子どもの成長期における課題について、家庭ではどのような教育を行えばよいのか、講義やディスカッションを通して学ぶことができました。				
	平成28年度 事業予定と 今後の課題	次年度も子育てミーティングを実施予定であるが、参加者の減少傾向が進んでいます。					
日の出公民館	平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	実施件数と実施予定数:9事業55回 中学校家庭教育学級(11回)、小学校家庭教育学級(8回)、幼稚園家庭教育学級(9回)、子育て講座「賢い『子育て』は脳科学から」(1回)、親子のくつろぎスペース「ほっこり」(12回)、乳幼児家庭教育講座「ゆったり子育てのつぼ」(7回)、青少年センター共催事業「思春期を知ろう～子どもたちの心の理解と明るい未来に向かって」(3回)、お父さん出番ですよ「子どもと一緒に休日ランチを作ろう」(3回)、お父さん出番ですよ！～お父さんと子どものパン作り教室(1回)				
		実績値	事業数	55事業	予算額	323千円	決算額
			延べ参加者数	527人			
	評価	A	異学年交流や、異年齢交流の居場所づくりとして今後も積極的に開催していきたいです。				
	平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業を実施していきます。					

事業番号	60	事業名	ジュニアリーダー・青少年リーダー育成の推進		担当課	青少年課	
重 計画内容	小学校4年生から6年生を対象に、リーダーとして必要な行動力・受容力・表現力を身につけていくことを目的とした研修を行います。また、主に中学生を対象に、青少年健全育成活動におけるリーダーの育成を行います。						
	ジュニアリーダー研修修了者数	平成25年実績	26人	平成29年目標	40人	平成31年目標	40人
	青少年リーダー会員数	平成25年実績	28人	平成29年目標	30人	平成31年目標	30人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	(ジュニアリーダー研修会) リーダーとしての資質の向上を図り、必要な知識・技術を習得するための研修会を実施しています。 (青少年リーダー講習会) 研修を通じて青少年リーダーとして必要な技能を修得させ、体験活動の中から豊かな心を育み、リーダーとしての資質の向上を図ることで青少年健全育成活動におけるリーダーの育成を図っています。					
	実績値	ジュニアリーダー研修修了者数	34人	予算額	998千円	決算額	
		青少年リーダー会員数	31人				
評価	A	(ジュニアリーダー研修会) 宿泊研修等様々な研修において、研修内容の自己評価を通じて、少しずつではあるが、各児童とも目標である表現力・受容力・行動力について向上が図っています。 (青少年リーダー講習会) 昨年に比べて、会員数、述べ参加者数も増加しており、講習会修了者2名を洋上研修への派遣するなど順調に実施しています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	(ジュニアリーダー研修会) 今後も実施内容等を検討し、リーダーとして活躍できる子どもを増やしていきます。 (青少年リーダー講習会) 引き続き、プログラムの内容の改善を行いながら、リーダーの育成を図っていきます。						

事業番号	61	事業名	青少年交流活動センター(うら・らめーる)の充実		担当課	青少年課	
計画内容	宿泊型の青少年教育施設「うら・らめーる」において、青少年の交流活動や団体生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、文化・芸術などの講座の充実を図ります。						
	延べ利用者数	平成25年実績	31,120人	平成29年目標	41,400人	平成31年目標	42,200人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	運営については、指定管理者の提案書に基づき運営されている。食事の改善など運営の見直しを進めました。					
	実績値	延べ利用者数	29711人	予算額	61,735千円	決算額	
		評価	A				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	施設利用者の増加はもとより、主催事業の実施時期を見直し利用促進を図ります。						

事業番号	62	事業名	青少年健全育成活動の推進	担当課	青少年課		
計画内容	子どもたちの豊かな育ちを支え、健全育成の推進を図るため、青少年相談員によるキャンプや少年親善スポーツ大会などの健全育成活動を推進します。また、市内で唯一、野外体験活動を行うことができる少年の広場での活動を推進するとともに、子どもたちが利用しやすい環境を整備・改善します。						
	相談員による活動の延べ参加者数	平成25年実績	1,176人	平成29年目標	1,500人	平成31年目標	1,500人
	少年の広場延べ利用者数	平成25年実績	3,355人	平成29年目標	3,500人	平成31年目標	3,600人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(青少年相談員) 青少年健全育成事業として、少年親善スポーツ大会ドッジボール(6月)、夏のキャンプ(7月)、ブラックシアター発表会(10月)等を実施しました。また、相談員の研修として一日研修や学習会も実施しています。</p> <p>(少年の広場) 青少年健全育成団体がより利用しやすくするため、整備しながら運営を行っています。また、自主事業を実施し、少年の広場利用促進等を図っています。</p>					
	実績値	相談員による活動の延べ参加者数	900人	予算額	3,948千円	決算額	
		少年の広場延べ利用者数	2,436人				
評価	A	<p>(青少年相談員) 参加者の募集方法や事業運営に関して、事業のフィードバックを行い、参加者のニーズを把握しながら事業の改善を図り、新たな意見を取り入れています。</p> <p>(少年の広場) 施設については団体の利用に支障がないように整備されています。</p> <p>また、定期利用団体が確保できています。</p>					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>(青少年相談員) 平成28年度より19期青少年相談員としての活動がスタートします。4月たけのご掘り、6月少年親善スポーツ大会(ドッジボール)、7月夏のキャンプ、10月ブラックシアター発表会、2月スケート教室、3月頃体験学習を実施します。</p> <p>(少年の広場) 市内で唯一、野外体験活動を行うことができる少年の広場での活動を推進するとともに、子どもたちが利用しやすい環境を整備・改善します。</p>						

## 4 すべての家庭が安心とゆとりを持てる子育て支援の充実

### (1)障がいのある子どもや特別な支援が必要な子どもへの支援の充実

事業番号	63	事業名	障がい者福祉推進事業	担当課	障がい事業課		
事 計 画 内 容	支援を必要とする子どもが乳幼児期から成人期までのライフステージにおいて、一貫した支援を継続的に受けられるよう、サポートファイルを配布するとともに、希望者が入手しやすいよう配布場所を拡大します。また、発達支援セミナーをはじめとした講演会の開催や地域への啓発活動を実施します。						
	サポートファイル配布数	平成25年実績	117冊	平成29年目標	150冊	平成31年目標	150冊
	講演会参加者数	平成25年実績	232人	平成29年目標	200人	平成31年目標	200人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	平成26年度より、サポートファイルの配布場所を、市内の相談支援事業所にも拡大し、相談に訪れた支援を必要とする子どもにもれなく配布できるようになりました。更に、現在、活用の充実を図るため、サポートファイルの改善を進めています。また、27年度は、発達支援セミナーを開催し、発達障がいの理解と支援のための啓発活動を実施しました。					
	実績値	サポートファイル配布数	22	予算額	2,818千円	決算額	
		講演会参加者数	206				
評価	A	配慮を必要とする子どもへの支援の充実と、発達障がいへの理解の促進が図れました。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、サポートファイルの配布を推進するとともに、サポートファイルの活用が充実されるよう、ファイルの改善と、関係機関との連携を図ります。また、発達障がいの理解と支援の推進のため、様々なニーズにあった講演会の開催や地域への啓発活動を実施します。						

事業番号	64	事業名	こども発達センターの充実	担当課	こども発達センター		
重 事 計 画 内 容	発達に心配のある子どもとその保護者を支援するため、発達段階に応じてグループや個別での専門的な相談・療育を行うとともに、児童発達支援センターとして保育所等訪問支援など地域に対する支援事業を行います。						
	児童発達支援利用数	平成25年実績	54人	平成29年目標	50人	平成31年目標	H29年度設定
	保育所等訪問支援利用数	平成25年実績	—	平成29年目標	5人	平成31年目標	H29年度設定
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童発達支援利用実績 子:実数53人・延数4,275人、親:実数17人・723人</li> <li>○個別相談実績 外来:延数4,849人・児童発達支援:延数597人</li> <li>○カンファレンス 外来:38件・児童発達支援:2件</li> <li>○土曜日利用実績 相談日数:18日 延数:773人</li> <li>○保育所等訪問支援事業実績 人数:3人 訪問回数:23回</li> <li>○地域機関電話相談実績:依頼5園 相談人数11人 延相談(訪問)回数33回</li> <li>○地域機関訪問相談:依頼7園 延相談人数25人</li> <li>○こども発達相談件数:221件 専門相談実施件数164件 初回アセスメント件数85回 継続相談89回</li> <li>○計画相談実績:新規・再作成件数 119件 モニタリング件数 85件</li> </ul>					
	実績値	児童発達支援利用数	53人	予算額	3,029千円	決算額	
		保育所等訪問支援利用数	3人				
評価	A	H26年10月に児童発達支援センターの指定を受けたことにより、新たに開始した相談支援と地域支援の実績に伸びが見られます。特に支援の対象を「発達センター利用児とその家族」から「地域で支援を必要としているすべての子どもとその家族」へと拡大した事により、電話による発達相談や情報提供の受けやすさ、また保育園や幼稚園での気になるこどもの相談のしやすさについて、市民や園の先生方から好評を得ています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	児童発達支援センターは、地域療育の中核施設としての役割を担うものとして児童、発達支援事業と地域支援事業の機能を果たすことが求められています。今後は直接的な療育サービスの提供に加えて、地域で支援を必要としているすべての子どもとその家族、また子どもたちが日常生活を過ごす園・学校等への機関支援及び相談支援の充実を図っていくことが課題と思われます。						

事業番号	65	事業名	保育園、児童育成クラブの利用支援の充実		担当課	保育幼稚園課 青少年課	
事	保育園や児童育成クラブの利用において、障がいの種類や程度にあった支援の充実を図ります。						
計画内容	公立保育園要支援児童数(通年)	平成25年実績	72人	平成29年目標	80人	平成31年目標	80人
	児童育成クラブ要支援児童数(通年)	平成25年実績	73人	平成29年目標	80人	平成31年目標	80人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(保育幼稚園課) 公立保育園では集団生活が可能な55人(うち手帳所持児は3人)の障がい児の受け入れを行っています。</p> <p>(青少年課) 児童育成クラブでは、入会を希望する特別な支援が必要な児童を受け入れています。平成27年12月末日現在、支援員(支援児加配)が必要な児童は、14クラブで68名(うち手帳所持者21名)が入会しています。</p>					
	実績値	公立保育園要支援児童数(通年)	55人	予算額	89,180千円	決算額	
		児童育成クラブ要支援児童数(通年)	68人				
評価	A	<p>(保育幼稚園課)公立保育園は基本的に全園障がい児の受け入れを行っています。</p> <p>(青少年課)全ての児童育成クラブで、入会を希望する特別な支援が必要な児童を受け入れています。</p>					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>(保育幼稚園課) 引き続き障がい児の受け入れを行っていきます。加配児以外にも援助・配慮の必要な児童が多くなっている現状の中で、どうクラス運営を行っていくのか、また、保育士不足の中で職員間でどう連携を取って保育をしていくのか、加配児の発達を促す関わりを行うための職員の研修による資質向上など課題は多くあげられます。</p> <p>(青少年課) 特別な支援が必要な児童の入会希望が増加傾向にあるため、全ての児童育成クラブにおいて、特別な支援が必要な児童を受け入れできるよう体制を整えています。</p>						

事業番号	66	事業名	まなびサポート推進事業		担当課	指導課	
重 事 計画内容	特別な教育的支援が必要な幼児、児童、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援が行われるよう、医師を含むまなびサポートチームの職員による訪問や相談活動を行います。また、関係機関と連携を図りながら園・学校における療育・教育情報の引き継ぎを円滑に行い、個別の教育支援計画、指導計画を作成するとともに、サポートファイルうらやすを活用して切れ目のない支援を推進します。						
	個別の指導計画	平成25年実績	513人	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
	個別の教育支援計画	平成25年実績	259人	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
	個別の相談回数	平成25年実績	485回	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
	園・小・中学校の訪問回数	平成25年実績	834回	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	①個別相談(保護者からの相談) ②訪問相談(園、学校からの相談) 幼稚園・認定こども園78件 108回 幼稚園・認定こども園161件 72日 保育園 48件 62回 保育園 107件 38日 小学校 131件 181回 小学校 307件 367日 中学校 18件 29回 中学校 34件 71日 その他 19件 28回 その他 17件 23日 ③就学相談 197件 275回 ④まなびサポート医師・スーパーバイザーへの相談 今年度も医師とスーパーバイザーをまなびサポートチーム員に加え、相談活動を行いました。 就学相談 22件 通級指導教室 25件 園・学校支援 7件					
	実績値	個別の指導計画	417人	予算額	48,012千円	決算額	
		個別の教育支援計画	113人				
		個別の相談回数	403回				
園・小・中学校の訪問回数		566回					
評価	A	就学前から就学後まで途切れることなく一貫した支援を行っています。個別相談の内、保護者、園・学校、まなびサポートの3者での相談は185回行いました。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、本市の特別支援教育を充実させるために、まなびサポート事業を推進し、子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援が行えるよう、幼稚園・認定こども園・保育園、小中学校への訪問相談や就学相談を中心とした相談活動体制の充実を図ります。園・学校における個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成を推進し、支援方法の引き継ぎについて確実にすることが課題となっています。						

事業番号	67	事業名	特別支援教育の推進	担当課		指導課	
事 計画内容	特別支援学級、通級指導教室、通常の学級などにおいて、特別な教育的支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育や指導の実現を図ります。また、特別支援学級の教科学習の充実、他機関と連携した園、校内体制づくり、担任と補助教員・支援員の連携などにより、特別支援教育についての理解を深め、指導力向上に向けた教員研修の充実を図ります。						
	特別支援学級設置校数	平成25年実績	15校	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
	配置支援員数	平成25年実績	16人	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
	担任・担当者・コーディネーター研修回数	平成25年実績	12回	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
	補助教員・支援員研修回数	平成25年実績	13回	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>○特別支援学級、通級指導教室での指導の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の教育的ニーズに合わせた教育課程の編成、グループや個別等の指導形態の工夫、通常の学級との交流及び共同学習の推進について研修会等で指導・助言することができました。</li> <li>入船小学校の開校とともに特別支援学級を開設しました。</li> <li>2校に設置している「ことばの教室」を「ことばときこえの教室」に改称し、きこえに困り感のある児童のための指導・支援の充実を図りました。</li> </ul> <p>○特別支援教育についての理解の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の充実を図るため、市内全小中学校で「特別支援教育の視点を生かしたどの子どもわかる授業づくり」についての研修を行い、教職員に先進校のユニバーサルデザインを取り入れた授業実践を紹介し、平成28年4月に施行される「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」等について周知しました。</li> </ul> <p>○校内支援体制の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育コーディネーター研修会や巡回研修を行うことで、特別支援教育コーディネーターを中心に全教職員で児童・生徒を支援できるような校内支援体制の整備を進めました。</li> </ul>					
	実績値	特別支援学級設置校数	18校	予算額	32,505千円	決算額	
		配置支援員数	16人				
担任・担当者・コーディネーター研修回数		12回					
補助教員・支援員研修回数		13回					
評価	A	入船小学校に特別支援学級を開設したり、ことばの教室をことばときこえの教室に改称したり、多様な学びの場を充実させることができました。全小中学校で巡回研修を行い、「特別支援教育の視点を生かしたどの子どもわかる授業づくり」について教職員に周知・理解を図ることができました。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	全小・中学校への特別支援学級の設置や通級指導教室の整備について、ニーズの確認や余裕教室の状況等の調査を行い検討をしているところです。 障がいの特性に応じた、学級編成の工夫や特別支援教育を推進していく教職員の育成が課題となっています。						

事業番号	68	事業名	福祉用教材及び学校設備の充実	担当課	指導課		
計画内容	特別な教育的支援を必要とする子どもの教育環境の向上に向け、福祉用教材の促進、教材の充実、学校設備等の充実を図るとともに、学習支援室の活用を進めていきます。						
	学習支援室の活用	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>○特別支援学級・通級指導教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の児童・生徒の教育環境の向上に向け、福祉用教材の活用・促進、学校の設備・備品の整備などを行いました。特に今年度改称したことばときこえの教室については、児童の指導に適した教材・教具や備品の充実を図りました。</li> <li>・昨年度開級した南小学校特別支援学級と明海南小学校通級指導教室については、児童の教育的ニーズを考慮した環境を整備するための工事を行いました。</li> </ul> <p>○学習支援室の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の教育的ニーズに応じた個別学習や少人数学習などを行うことを目的とし、小・中学校に整備を進めてきました。今年度、浦安小学校、日の出南小学校の2校に整備し、全小・中学校26校に学習支援室を設置しました。</li> </ul>					
	実績値	学習支援室の活用	100%	予算額	8,670千円	決算額	
	評価	A	特別支援学級と通級指導教室の生活・学習環境を整備することで、児童・生徒一人一人の教育的ニーズに対応した指導支援の充実を図ることができました。学習支援室については、落ち着いた環境の中で、情緒の安定を図り、個に応じた学習を進める上で役立っています。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	インクルーシブ教育システム構築に向け、適切な合理的配慮の提供ができるよう特別支援教育を推進するとともに、子どもの教育的ニーズに応じた設備・教材・教具の充実に向けた基礎的環境整備を行います。特別支援学級や通級指導教室、また学習支援室の効果的な活用を促進し、多様な学びの場の充実を図ります。						

事業番号	69	事業名	青少年サポート事業	担当課	障がい事業課		
計画内容	発達障がいや発達障がいの疑いがある学齢期以降の子どもの支援を充実するため、専門性の高い相談や療育支援を行います。						
	利用者実人数	平成25年実績	—	平成29年目標	200人	平成31年目標	200人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	個別、集団でのソーシャルスキルトレーニングを行う療育支援、保護者・当事者への相談支援、思いや問題を共有する場を作る交流事業、機関訪問支援や研修会等を行う地域支援を実施しました。					
	実績値	利用者実人数	176	予算額	32,000千円	決算額	
	評価	A	交流事業や地域支援の成果により、登録者が増加しています。発達障がいや発達障がいの疑いがある学齢期以降の子どもへの支援の充実が図れました。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き療育支援、相談支援、交流事業、地域支援を実施し、発達障がい児・者に対する理解と、支援力の向上に努めます。						

(2)子どもの権利擁護や児童虐待対策の強化

事業番号	70	事業名	DV被害者に対する支援の充実			担当課	企画政策課 (男女共同参画センター)	
計画内容	女性が抱える様々な問題について相談者が自ら解決できるよう、専門家による相談を実施します。また、DVについて情報提供や啓発を行うため、「DV相談支援カード」やDV被害者の自立に向けた支援をまとめた「DV被害者ガイドブック」の発行などを行うとともに、DV被害者の自立を支援する民間団体への援助を行います。							
	延べ相談件数	平成25年実績	661件	平成29年目標	840件	平成31年目標	840件	
	DV相談支援カード発行数	平成25年実績	—	平成29年目標	5,000枚	平成31年目標	5,000枚	
	DV被害者ガイドブック	平成25年実績	500部	平成29年目標	500部	平成31年目標	500部	
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	「女性のための相談」を実施するとともに、相談事業の周知を図るため、「DV相談支援カード」を市内公共施設やショッピングセンターの女性トイレに設置し、DVに関する情報提供を行っています。また、DV被害者の自立支援のために、ステップハウスを運営する民間団体への支援を行っています(2団体)。						
	実績値	延べ相談件数	474件	予算額	4,842千円	決算額		
		DV相談支援カード発行数	—					
		DV被害者ガイドブック	—					
評価	A	「女性のための相談」において、DVに関する相談に対応しています。また、相談等につながったDV被害者へは、安全面に配慮した情報提供や自立に向けた支援を行っています。						
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き「女性のための相談」を実施するとともに、DV被害者を支援につなげていたため、DV相談支援カードなどによる相談窓口の周知を図ります。また、DV被害者への情報提供の充実を図るため、DV啓発リーフレットの内容を刷新する予定です。							

事業番号	71	事業名	児童虐待を早期発見するための啓発活動の推進		担当課	こども家庭支援センター こども課	
重 事 計画内容	児童虐待を受けた可能性がある子どもを発見した場合などの相談受付となる子ども虐待ホットラインの周知を図るとともに、関係機関向けに児童虐待に関する研修会などを行い、児童虐待の防止や早期発見に努めます。また、子ども自身の児童虐待への気づきを促すため、児童福祉週間の時期に合わせ、新小・中学校1年生にリーフレットを配付します						
	研修会・講演会回数	平成25年実績	4回	平成29年目標	4回	平成31年目標	4回
	ホットラインPR用チラシ配布数	平成25年実績	4,500枚	平成29年目標	5,000枚	平成31年目標	5,000枚
	子ども版リーフレット配布数	平成25年実績	3,500枚	平成29年目標	3,500枚	平成31年目標	3,500枚
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(こども課) 児童虐待から子どもを守るための児童虐待予防と防止に関する施策の推進を目的とした「浦安市の子どもをみんなで守る条例」を平成24年4月1日公布、7月1日施行し、この条例の周知及び子どもに対する児童虐待についての知識普及や啓発を目的とした子ども向けリーフレットを5月に全公立小・中学校新入生に配布しました。</p> <p>(こども家庭支援センター) 市民祭りや駅前でのキャンペーン活動を通じて、子ども虐待ホットラインの電話番号を記したチラシ・カードの配布を行ったほか、広報うらやすで特集号を組み、子育てに悩む保護者には、悩みを抱えたらすぐに相談することを市のメッセージとして伝えました。</p>					
	実績値	研修会・講演会回数	6回	予算額	409千円	決算額	
		ホットラインPR用チラシ配布数	4,500枚				
子ども版リーフレット配布数		3,000枚					
評価	A	<p>(こども課) 子ども向けリーフレットの配布により、子どもにも児童虐待について知る機会を与えたことで、子どもから大人まで広く本条例と児童虐待の防止について周知と啓発が図れました。</p> <p>(こども家庭支援センター) 市民や関係機関への認知が図れたことで、気になる家庭についての相談が多くこども家庭支援センターや市川児童相談所に寄せられています。</p>					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>(こども課) 今後も子ども対象にリーフレット等で啓発を行うことで、子どもに児童虐待について知る機会を与えることができ、児童虐待の予防や早期発見などに努めていくとともに、知識の普及及び啓発を目的に継続していきます。</p> <p>(こども家庭支援センター) 市民や関係機関による児童虐待の理解は進みつつあることから、虐待行為をしてしまう親が相談しやすい環境整備や啓発に努めます。</p>						

事業番号	72	事業名	家庭児童相談の充実	担当課	こども家庭支援センター		
重 事 計画内容	地域で安心して子育てができる環境づくりや児童虐待防止の強化を図るため、家庭相談員が子どもと家庭に関する様々な相談に総合的に対応します。						
	延べ家庭児童相談件数	平成25年実績	11,043件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	地域で安心して子育てができる環境づくり、また、児童虐待の防止強化などを目的として、子どもと家庭に関するさまざまな問題に総合的に対応しています。					
	実績値	延べ家庭児童相談件数	継続	予算額	3,580千円	決算額	
		評価	A	児童虐待の相談だけでなく、家庭環境が影響していると思われる不登校や非行の問題までを幅広く対応しています。			
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、きめ細やかな対応に努めます。						

事業番号	73	事業名	養育支援訪問事業の充実	担当課	こども家庭支援センター		
事 計画内容	児童虐待防止や予防に取り組むため、育児不安や育児ストレスがある家庭、特定妊婦、問題を抱えた家庭に対して、訪問を行い、助言や指導を行います。						
	延べ訪問世帯数	平成25年実績	167世帯	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	養育力の不足している家庭に訪問を行い、育児に関しての助言を行うほか、産前より支援を行っている妊婦の出産後には、家庭内で沐浴など実際に養育の手技をやって見せるなどの支援を行っています。					
	実績値	延べ訪問世帯数	175世帯	予算額	3,580千円	決算額	
		評価	A	地域の特性上、近隣に支援が期待できる親族や知人がいない家庭も多いことから、保護者に具体的な育児手技の提示や社会資源の紹介を行うことで、ケースに寄り添った対応が行われています。			
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、きめ細やかな対応に努めます。						

事業番号	74	事業名	要保護児童対策地域協議会の充実		担当課	こども家庭支援センター	
重 事 計画内容	要保護児童対策の充実のため、関係する機関の代表者会議、実務者会議を通じて円滑な情報交換を行い、個別の支援ケースに関してより細やかな支援を行います。						
	代表者会議開催回数	平成25年実績	2回	平成29年目標	2回	平成31年目標	2回
	実務者会議開催回数	平成25年実績	12回	平成29年目標	12回	平成31年目標	12回
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	定例の実務者会議だけでなく、随時開催の個別支援会議を前年同様、月に数回の頻度で開催しています。					
	実績値	代表者会議開催回数	2回	予算額	144千円	決算額	
		実務者会議開催回数	9回				
評価	A	前年同様、個別支援会議を多く開催することにより、個別の支援ケースに関して、より細やかな対応協議が図れるだけでなく、担当者間での意思疎通でき、対象ケース以外の情報共有もスムーズに行われるようになりました。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	要保護児童等の対応は担当課だけでなく、他機関による連携した対応が必要となりますので、今後ともきめ細やかな情報共有に努めます。						

事業番号	75	事業名	いじめ問題等対策事業		担当課	指導課	
計画内容	いじめ予防や防止、早期解決に向けた支援を推進するための児童・生徒や保護者を対象とした「いじめ110番」専用電話による相談の実施や、いじめ問題について地域全体で取り組む意識を育むための周知・啓発活動を充実します。 また、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、各学校の実情に応じたいじめのない学校づくりを推進するとともに、「浦安市いじめに係る対策・調査委員会設置条例(仮称)」の制定を進めます。						
	いじめの未然防止、早期発見・解消及びいじめ防止に係る啓発活動	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
	「学校いじめ防止基本方針」によるいじめのない学校づくりの推進	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	いじめ110番においては、10件(述べ相談回数)の相談を受理し、早期対応が必要なケースについては、学校と連携して早期対処を図りました。また、各学校のホームページトップ画面に「学校いじめ防止基本方針」を掲載するなどして、学校におけるいじめへの対応方針や指導計画等を公表し、保護者や地域住民の理解を得るよう努めました。さらに、「浦安市いじめ対策調査委員会条例」を4月1日に施行し、いじめの防止等のための対策を実行的に行うために、同委員会会議を開催いたしました。					
	実績値	いじめの未然防止、早期発見・解消及びいじめ防止に係る啓発活動	推進	予算額	105千円	決算額	
		「学校いじめ防止基本方針」によるいじめのない学校づくりの推進	推進				
評価	A	浦安市いじめ対策調査委員会の委員から専門的な知見を仰ぐことができ、いじめの防止等の対策の充実及び強化を図ることができました。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	浦安市いじめ防止基本方針を4月1日に施行し、市のいじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進していきます。また、児童生徒や保護者にパンフレット等を配布し、いじめの防止等に係る啓発活動を充実させるとともに、教職員対象の研修会を開催し、指導力の向上に努めます。						

### (3)子育て家庭への相談・支援の充実

事業番号	76	事業名	子育て家庭への経済的支援の充実	担当課	こども課		
計画内容	子育てに係る経済的な負担を軽減するため、中学校修了までの子どもを養育している保護者に児童手当を支給します。また、中学校3年生までの子どもが病院などで保険診療を受けた場合、保護者が負担した医療費を助成します。						
	児童手当 延べ支給件数	平成25年実績	302,103件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
	子ども医療費助成 延べ件数	平成25年実績	377,420件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	中学校修了までの子どもを養育している保護者に児童手当(所得制限限度額以上の方については、支給対象児童1人当たり1月5,000円の特例給付)を支給しています。また、中学校3年生までの子どもが病院などで保険診療を受けた場合、保護者が負担した医療費を助成します。また、助成対象者全員が千葉県内の病院を受診した際は、現物給付の方法で医療を受診しています。所得制限は設けていません。					
	実績値	児童手当 延べ支給件数	190,934件	予算額	2,811,313千円	決算額	
		子ども医療費助成 延べ件数	296,076件		786,040千円		
評価	A	子育て世帯への経済的負担の軽減と生活の安定を図ることに成果を上げています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、児童手当・子ども医療費助成事業の各事業を実施していく予定です。						

事業番号	77	事業名	多子世帯の保育料等の軽減支援事業	担当課	保育幼稚園課		
基 計画内容	第1子から第3子までの出産期間が、6年を超えるケースが多くなっているため、市の単独補助として、従来の補助対象年齢を引き上げ、多子世帯の保育料等の軽減支援を行います。						
	保育所等運営費保護者負担金軽減	平成25年実績	—	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
	認証保育所通園児補助金加算支給	平成25年実績	—	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
	幼稚園就園奨励費補助金加算支給	平成25年実績	—	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	平成27年度から兄弟の年齢制限を廃止し、認可保育所・認定こども園・幼稚園・認証保育所等に通園している児童が第2子以降に該当する場合に保育料等の減免・加算補助を実施。 ・認可保育所・認定こども園・幼稚園等 基準額表保育料等より第2子は半額、第3子以降は無料 ・認証保育所・私立幼稚園 第2子・第3子以降に該当する補助額を上乗せ加算補助					
	実績値	保育所等運営費保護者負担金軽減	継続	予算額	127,326千円	決算額	
		認証保育所通園児補助金加算支給	継続				
幼稚園就園奨励費補助金加算支給		継続					
評価	A	多子世帯の経済的負担の軽減に資することができました。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き保育料等の減免・加算補助を実施します。						

事業番号	78	事業名	奨学支援金支給の実施	担当課	教育総務課		
計画内容	高等学校等の就学を希望し入学する者で、経済的な理由により修学することが困難な者に対し、家庭での経済的負担を軽減するため、学業に必要な経費の一部を支援する「奨学支援金」の給付を実施します。						
	奨学支援金支給件数	平成25年実績	—	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	浦安市ホームページや広報への記載、市内中学校・高等学校や公共施設などへのチラシの配布、新聞や書籍、テレビ放映等で本制度の周知を行いました。12月末現在で、高校・大学等合わせて147名に対して奨学支援金の給付を行いました。					
	実績値	奨学支援金支給件数	147件	予算額	103,080千円	決算額	
評価	B	当初の見込みとの差は生じたものの、経済的理由により修学が困難な学生に対し、12月末現在で、高校・大学等合わせて147名の給付を行うことができ、教育の機会均等に寄与することができました。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	平成28年度も引き続き本制度を続けていく予定です。今後、制度の利用状況や社会情勢などを踏まえながら、貸付制度を含んだ、奨学金制度全体を通じた対応を検討していく考えています。						

事業番号	79	事業名	ひとり親家庭への相談・生活支援の充実	担当課	こども家庭支援センター		
重 事 計画内容	母子・父子自立支援員がひとり親家庭の生活などの相談に応じるとともに、自立に必要な指導・助言を行います。また、未就学児のいるひとり親家庭で、父母が病気・就職活動などで一時的に生活援助を必要としている場合や生活環境の変化などで日常生活に支障が生じている場合にホームヘルパーを派遣します。						
	延べ相談件数	平成25年実績	1,506件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
	ホームヘルパー派遣世帯数	平成25年実績	4世帯	平成29年目標	5世帯	平成31年目標	5世帯
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭の生活等の相談に応じるとともに、自立に必要な指導・助言を行っています。					
	実績値	延べ相談件数	1,053件	予算額	7,871千円	決算額	
		ホームヘルパー派遣世帯数	3世帯				
評価	A	ひとり親家庭の自立のために必要に応じてホームヘルパーを派遣するなどしています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、きめ細やかな対応に努めます。						

事業番号	80	事業名	母子家庭等就労支援の充実	担当課	こども家庭支援センター		
事 計画内容	母子家庭などの自立促進のため、パソコン教室や就労支援講座を開催するとともに、ハローワークなどの関係機関と連携を取りながら、個別に自立支援プログラムを策定します。また、ひとり親家庭の就業をより効果的に促進するため、教育訓練講座や高等技能訓練の受講者に給付金を支給します。						
	教室・講座延べ参加者数	平成25年実績	25人	平成29年目標	30人	平成31年目標	30人
	自立支援プログラム申請者	平成25年実績	2人	平成29年目標	3人	平成31年目標	3人
	自立支援給付件数	平成25年実績	7件	平成29年目標	5件	平成31年目標	5件
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	「シングルマザーお仕事応援セミナー(ワード・エクセル基礎、就活講座)」平日コース(6月)、夜間コース(9月～10月)、土曜コース(1月～3月)を各1回実施しました。					
	実績値	教室・講座延べ参加者数	15人	予算額	1,048千円	決算額	
		自立支援プログラム申請者	1人				
自立支援給付件数		3件					
評価	A	パソコン教室と就労支援講座を一貫プログラムを原則としていますが、希望者には選択制とするなど参加しやすくしています。また夜間コースを設けたところ、働きながら転職をめざす方に好評でした。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	開催方法等を工夫し、一定の参加者数を継続しています。内容についてもアンケート等を活用し、受講者にとって実務に役立つ内容とし、就職、転職に結びつく効果を得ています。						

事業番号	81	事業名	ひとり親家庭への経済的支援の実施	担当課	こども課		
事 計画内容	ひとり親家庭の経済的な負担を軽減するため、18歳未満の子ども及びその親が病院などで保険診療を受けた場合、負担すべき医療費を一部助成します。また、賃貸住宅に暮らすひとり親家庭に住宅手当を支給します。さらに保護者が交通事故で死亡または重度の障がい者となった場合に交通遺児手当を支給します。						
	ひとり親家庭等医療費等助成 延べ件数	平成25年実績	6,556件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
	ひとり親家庭住宅手当 延べ支給件数	平成25年実績	6,083件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
	交通遺児手当 延べ支給件数	平成25年実績	71件	平成29年目標	継続	平成31年目標	継続
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	ひとり親家庭等の方が、医療機関等で支払った保険診療の自己負担額(1レセプトにつき1,000円、入院時食事代等は除く)を助成しています。また、月額10,000円を超える家賃を支払っているひとり親家庭の世帯主の方に、月額15,000円を限度として住宅手当を支給しています。その他、保護者が交通事故で死亡または重度の障がい者となった児童を養育する保護者に、交通遺児手当を支給しています。ただし、所得制限あり。					
	実績値	ひとり親家庭等医療費等助成 延べ件数	5,586件	予算額	19,474千円	決算額	
		ひとり親家庭住宅手当 延べ支給件数	3,250件		82,000千円		
		交通遺児手当 延べ支給件数	56件		1,512千円		
評価	A	ひとり親家庭等への経済的負担の軽減と住環境の安定を図ることに成果を上げています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	引き続き、ひとり親家庭等の経済的な負担を軽減するため、各事業を実施していく予定です。対象となる方からの申請に基づく助成・支給となるため、申請漏れなどが起こらないよう、制度の周知徹底に努めていきます。						

事業番号	82	事業名	青少年相談事業の充実	担当課	青少年センター		
重 計画内容	<p>青少年の非行防止及び健全育成を図るため、青少年の問題行動や学校、家庭などでの悩みごとについて、青少年センター相談員が相談を受け、問題解決に向けて適切な助言を行うとともに、必要に応じて専門機関の紹介などを行います。</p>						
	延べ相談件数	平成25年実績	392件	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>今年度は、受理件数45件に対して、148回の相談をおこないました。月一回「要保護児童実務者会議」に出席し、他機関との連携を密にするとともに「(財)日本心理研修センター」「(公)明治安田こころの健康財団」等が主催する研修にも参加し、子どもたちを取り巻く諸問題の変化にも対応できる相談態勢の確保に努めました。</p>					
	実績値	延べ相談件数	148	予算額	3,303千円	決算額	
		評価	A	<p>青少年相談活動の一層の充実に資することを目的に「浦安市要保護児童対策地域協議会実務者会議」「女性と子どものための相談事業担当者会議」へ参加するなど、他の相談機関との連携を図りました。このことにより、機関・担当者の情報を相互に認識し、相談事業を円滑に行う上でのネットワークづくりを構築することができました。</p>			
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>引き続き青少年相談業務の実施・充実に努めていきますが、市民にとってより利用しやすくなるよう、効果的に相談事業を周知していくことが課題となっています。他市を例に取ると携帯電話、スマートフォン、コンピュータなどからの24時間受け付けなどが考えられます。</p>						

事業番号	83	事業名	浦安市適応指導教室の設置	担当課	指導課		
重 計画内容	<p>集団不適応、不登校傾向にある児童・生徒を対象に、いちよう学級において学習活動・集団活動、カウンセリングなどを行い、集団適応能力や自己決定力の育成を支援します。また、学校生活及び教育全般にわたる諸問題について、電話や面接、訪問による相談を行います。</p>						
	いちよう学級における指導・支援	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
	教育相談・訪問相談による支援・援助	平成25年実績	推進	平成29年目標	推進	平成31年目標	推進
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>いちよう学級では、集団不適応、不登校傾向にある児童・生徒を対象に、学習指導・集団活動等をおして、自己決定力の育成を支援・援助し、集団生活への適応能力を育成することを目的として支援を行いました。教育相談では、不登校や生活行動等、学校不適応問題に関して、子ども及びその保護者、教育関係者からの相談に応じました。訪問相談では、不登校傾向、ひきこもり傾向にある児童・生徒及びその保護者を対象に訪問によるカウンセリングを通し、いちよう学級や校内支援教室等へつなげる支援を行いました。</p>					
	実績値	いちよう学級における指導・支援	1367名	予算額	22,661千円	決算額	
		教育相談・訪問相談による支援・援助	2743回				
評価	A	<p>いちよう学級の通級生は、学習活動や集団活動等を通して様々な体験を積み重ね、小集団の生活に適応できるようになってきています。教育相談においては、個々の状況に応じた支援策を検討し、具体的な対応を行うことができました。訪問相談においては、いちよう学級に通級できるようになったり、対話時間が長くなったりするなどの好転が見られました。</p>					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>新たに統括訪問相談員を2名配置し、訪問相談による支援を強化するとともに、学校等との連携のさらなる充実を図ります。</p>						

事業番号	84	事業名	外国人相談窓口の実施	担当課	地域ネットワーク課		
計画内容	日本の文化に不慣れな外国人が生活しやすい環境づくりを推進するため、外国人アドバイザーによる行政情報の提供や庁舎内窓口業務のサポート、さらに、子どもの学校や医療などを含めた日常生活に関する様々な相談を実施します。						
	延べ相談件数	平成25年実績	512件	平成29年目標	550件	平成31年目標	550件
	対応言語数	平成25年実績	7か国語	平成29年目標	7か国語	平成31年目標	7か国語
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	外国人アドバイザーが情報の提供、医療や子育て等日常生活に関する様々な相談を受ける窓口を設置しています。 [アドバイザー] 3名 [開設日] 毎週月曜日～金曜日 午前10時～午後4時(正午から午後1時除く) [言語] 月・火曜日 英語・ポーランド語・フランス語・ロシア語・日本語 水・木曜日 英語・スペイン語・日本語 金曜日 英語・中国語・日本語 [費用] 無料 [方法] 市役所に来庁または電話					
	実績値	延べ相談件数	356	予算額	3,380千円	決算額	
		対応言語数	7				
評価	A	日本語の不自由な外国人が日々の暮らしの中で必要な情報を、日本語だけでなく外国語で情報提供することにより、在住外国人に対しての支援を行うことができました。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	日本語が不自由な外国人にとっては、外国語で相談できる機会が限られるため、外国人による相談窓口の意義は大きいことから、平成28年度も継続して実施します。						

## 5 地域で子どもを見守り大切にすまちづくりの推進

### (1)子どもの安全を見守る環境づくりの充実

事業番号	85	事業名	地域防犯ネットワークの充実	担当課	防犯課			
計画内容	重	地域における子どもの安全を確保するため、登下校時間帯を中心に小・中学校の通学路などの市内巡回パトロールを行うとともに、自治会やPTAをはじめとする地域の自主防犯活動団体や学生防犯委員会V5、防犯ボランティアなどが行う防犯活動を支援します。また、防犯協会や警察署と連携しながら、防犯キャンペーンや防犯講演会を実施し、市民の防犯意識の高揚を図ります。さらに、事業者の協力のもと、防犯かけこみ110番の店や事業者パトロール隊による見守りを強化するなど、地域防犯ネットワークを充実します。						
		防犯ボランティア登録数	平成25年実績	525人	平成29年目標	700人	平成31年目標	850人
		防犯講習会・講演会回数	平成25年実績	16回	平成29年目標	25回	平成31年目標	30回
		事業者パトロール隊事業者数	平成25年実績	39事業者	平成29年目標	45事業者	平成31年目標	50事業者
		防犯かけこみ110番の店 店舗数	平成25年実績	498店舗	平成29年目標	900店舗	平成31年目標	1,000店舗
平成27年度 実施状況と 評価		実施状況	地域における子どもの安全を確保するため、登下校時間帯を中心に小・中学校の通学路などの市内巡回パトロールを行うとともに、地域の自主防犯活動団体や学生防犯委員会V5、防犯ボランティアなどが行う防犯活動を引き続き支援しました。また、防犯協会や警察署と連携しながら、防犯キャンペーンや防犯講演会を継続して実施し、事業者の協力のもと、防犯かけこみ110番の店や事業者パトロール隊の拡充を図りました。					
		実績値	防犯ボランティア登録数	488人	予算額	5,881千円	決算額	
			防犯講習会・講演会回数	15回				
			事業者パトロール隊事業者数	41事業者				
防犯かけこみ110番の店 店舗数	1039店舗							
評価	A	おおむね計画通りにキャンペーンや講演会の実施を行っており、また、各地域の自主防犯団体に対する支援や、防犯かけこみ110番の店並びに事業者パトロール隊の拡充を行いました。						
平成28年度 事業予定と 今後の課題		引き続き各活動を継続するとともに、防犯ボランティア制度の周知・拡充を行うなど、地域の防犯ネットワークの強化を図ります。						

事業番号	86	事業名	移動防犯活動事業	担当課	防犯課			
計画内容		高洲移動防犯ステーションを活動拠点として、防犯指導員(警察官OB)を中心に移動防犯車を活用しながら、小学校や幼稚園、保育園、公園、公民館など様々な場所で防犯教室・防犯訓練・啓発活動などを実施します。						
		防犯教室・防犯訓練・啓発活動等実施回数	平成25年実績	163回	平成29年目標	180回	平成31年目標	200回
平成27年度 実施状況と 評価		実施状況	高洲移動防犯ステーションを活動拠点として、防犯指導員(警察官OB)を中心に移動防犯車を活用しながら、小学校や幼稚園、認定こども園、保育園、公園、公民館など様々な場所で防犯教室・防犯訓練・啓発活動などを継続して実施しました。					
		実績値	防犯教室・防犯訓練・啓発活動等実施回数	98回	予算額	14,161千円	決算額	
			評価	A				
平成28年度 事業予定と 今後の課題		より効果的に防犯啓発活動を実施していくため、事業活動を行いながら活動内容についても検討し、移動防犯活動事業全体の活性化を図ります。						

事業番号	87	事業名	学校等防犯対策の充実	担当課	保健体育安全課		
計画内容	警察と連携しながら実践的・効果的な防犯訓練や防犯教室を実施し、教職員の危機管理意識の向上と子どもの防犯教育の充実を図ります。また、市立全小学校への昼間帯における警備員配置など防犯体制を強化するとともに、学校の防犯設備などを充実します。						
	防犯教室実施校数	平成25年実績	18校	平成29年目標	17校	平成31年目標	17校
	防犯訓練実施校数(小中学校/幼稚園)	平成25年実績	26校/14園	平成29年目標	26校/14園	平成31年目標	26校/14園
平成27年度実施状況と評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防犯教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校新入学児童を対象とする防犯教室(連れ去り防止)の実施・・・全市立小学校(17校)</li> <li>・不審者侵入を想定した防犯訓練の実施・・・全市立小学校・中学校・幼稚園・認定こども園(26校14園)</li> <li>・地域安全マップ作成の奨励・・・各小学校の授業で随時実施</li> </ul> </li> <li>●防犯体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に警備員を1名配置・・・全市立小学校(17校)</li> <li>・防犯カメラの設置・・・全市立小学校・中学校・幼稚園・認定こども園(26校14園)</li> </ul> </li> <li>●通学時の防犯対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の防犯ブザー携行による通学の奨励・・・携行率63.6%</li> </ul> </li> </ul>					
	実績値	防犯教室実施校数	17校	予算額	45,605千円	決算額	
		防犯訓練実施校数(小中学校/幼稚園)	26校/14園				
評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯訓練、防犯教室(連れ去り防止)、地域安全マップ作成等の防犯教育を推進することにより、教職員の危機管理意識の高揚及び児童生徒の危険予測・回避能力の向上が図られました。</li> <li>・警備員の配置、防犯カメラの設置等による防犯体制の強化及び防犯ブザー携行による通学の奨励等により、不審者の侵入や児童生徒が被害者となる連れ去り事件等を未然に防ぎ、児童等の安全が確保されました。</li> </ul>					
平成28年度事業予定と今後の課題	引き続き学校等防犯対策の充実に向け、防犯訓練、防犯教室(連れ去り防止)、地域安全マップ作成の奨励等を通じて防犯教育の充実を図るとともに、警備員の配置、防犯カメラの設置等による防犯体制の強化及び児童の防犯ブザー携行による通学の奨励により、通学時の防犯対策の推進を行います。						
事業番号	88	事業名	交通事故防止対策の充実	担当課	保健体育安全課		
計画内容	市立小学校において、警察と連携しながら交通安全教室や自転車安全運転教室を定期的かつ継続的に開催し、交通安全教育の充実を図ります。また、通学路の安全点検を行い、特に交通事故の危険性が高い交差点に交通整理員を配置するなど、交通事故防止対策を推進します。						
	交通安全教室実施校数	平成25年実績	18校	平成29年目標	17校	平成31年目標	17校
	自転車安全運転教室実施校数	平成25年実績	18校	平成29年目標	17校	平成31年目標	17校
平成27年度実施状況と評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通安全教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・春・夏・秋・冬の交通安全運動の実施・・・全市立小学校・中学校・幼稚園・認定こども園(26校14園)</li> <li>・交通安全教室の実施・・・全市立小学校(17校)1年生児童1,556名</li> <li>・自転車安全運転教室の実施・・・全市立小学校(17校)3年生児童1,680名</li> </ul> </li> <li>●通学路の安全対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故の危険性が高い交差点への交通整理員の配置・・・浦安橋東詰交差点他8か所に14名配置</li> <li>・ボランティアによる登下校時の交通誘導活動・・・交通安全推進隊等による誘導</li> <li>・通学路検討会の開催・・・危険箇所に対する安全点検及び安全対策の実施</li> </ul> </li> </ul>					
	実績値	交通安全教室実施校数	17校	予算額	15,355千円	決算額	
		自転車安全運転教室実施校数	17校				
評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室、自転車安全運転教室の実施により児童の交通安全意識が高まりました。</li> <li>・交通整理員及びボランティアによる交通誘導により、交通事故の発生を未然に防ぐことができました。</li> <li>・通学路検討会の開催により、市立小学校・中学校・幼稚園・認定こども園の通学路の現状把握及び状況に応じた安全対策を講じることができました。</li> </ul>					
平成28年度事業予定と今後の課題	引き続き交通事故防止対策の充実に向け、交通安全運動、交通安全教室、自転車安全運転教室等を実施し、交通安全教育の充実を図るとともに、交通整理員の配置、ボランティアによる交通誘導活動及び通学路検討会の開催等を通じて通学路の安全対策を講じます。						

事業番号	89	事業名	薬物乱用防止等対策の推進	担当課	保健体育安全課		
計画内容	児童・生徒が薬物使用及び喫煙による健康被害を学び、正しい行動が判断できる能力を育成するため、市立小中学校において学校薬剤師や警察などの専門家と連携した薬物乱用防止教室を計画的に実施します。						
	薬物乱用防止教育(小学校/中学校)	平成25年実績	18校/7校	平成29年目標	18校/7校	平成31年目標	17校/9校
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>●薬物乱用防止教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育(保健領域)・保健体育の年間指導計画及び学校保健年間計画に基づく、計画的な正課授業の実施。</li> </ul> </li> <li>●薬物乱用防止教室の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校薬剤師、警察職員等、外部専門家の講師による薬物乱用防止教育の開催。</li> <li>・保護者参加型の薬物乱用防止教室の開催。</li> <li>・薬物乱用のほか、喫煙、飲酒の防止に関する内容を含めた薬物乱用防止教室の開催。</li> </ul> </li> </ul>					
	実績値	薬物乱用防止教育(小学校/中学校)	10校	予算額	保健関係の研修会の助成金の一部	決算額	
	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部専門家の講師からの指導により、薬物乱用の危険性等への理解が深まりました。</li> <li>・正課授業と薬物乱用防止教室の開催を連動して計画的に実施することで、児童生徒の理解と行動化への意識付けが強化されました。</li> <li>・「学校保健委員会」と連動して開催することで、保護者の理解を図ることもつながりました。</li> <li>・全小中学校での薬物乱用防止教室開催を目指しているが、中学校では未実施校があります。</li> </ul>				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	専門家を活用した薬物乱用防止教室の開催や、地域を含めた保護者との連携を見据えた薬物乱用防止に関する情報提供等、薬物乱用防止の充実に向け、引き続き取り組みます。						

事業番号	90	事業名	子ども向け消費生活学習の推進	担当課	消費生活センター		
計画内容	子どもが悪質商法や携帯電話トラブルに巻き込まれる被害を未然に防止するため、市内中学校3年生と高校3年生を対象に啓発リーフレットを配布するとともに、消費生活に関する講座を実施します。						
	配布学校数	平成25年実績	14校	平成29年目標	15校	平成31年目標	15校
	講座開催数	平成25年実績	1回	平成29年目標	1回	平成31年目標	1回
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	市内の中学校11校、高校4校の新3年生全生徒に消費生活に関するトラブル防止のための啓発リーフレットを配布しました。また、各中学及び高校宛てに出前講座の案内を配布しました。					
	実績値	配布学校数	15	予算額	378千円	決算額	
	評価	A	これから進学や社会へと出ていく生徒に対する啓発は重要であり、成果があると考えています。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	市内の中学3年生及び高校3年生全生徒に配布予定です。						

事業番号	91	事業名	青少年補導員活動・地域パトロールの実施	担当課	青少年センター		
重 計画内容	児童・生徒の非行の未然防止と健全育成の促進のため、青少年補導員が警察や関係機関と連携してパトロールによる街頭補導を行います。また、未成年に対して酒・たばこ・有害図書などを販売しないよう、販売業者に対して年齢確認の徹底や有害図書などの適正陳列に関する協力依頼などを行います。さらに、広く市民に理解と協力を呼びかけるため、広報誌の発行やキャンペーンなどを行います。						
	補導員数	平成25年実績	105人	平成29年目標	110人	平成31年目標	110人
	広報誌発行回数	平成25年実績	6回	平成29年目標	6回	平成31年目標	6回
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	主催事業として、「県下一斉合同パトロール」「花火大会パトロール」「盆踊り大会パトロール」「市民まつりパトロール」「県下一斉広域列車パトロール」などの各種パトロールをはじめ、「補導員一日研修」「県補導(委)員連絡協議会研修」などの研修に参加しました。また、青少年センター主催の「非行防止キャンペーン」「一日補導員キャンペーン」に協力参加するとともに他機関の主催である「社会を明るくする運動」「歳末防犯パトロール」などにも参加しました。					
	実績値	補導員数	105	予算額	3,462千円	決算額	
		広報誌発行回数	3				
評価	A	青少年補導委員連絡協議会の主催する事業以外にも他機関が主催するキャンペーン等にも積極的に参加し、青少年補導委員連絡協議会の活動を広く周知することができました。このことにより、その活動が市民の理解と協力を得るとともに他機関との連携が深まり効果的な活動を推進することができました。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	平成28年度においても、地道に例年通りの活動を行って行く中で、学校などを通じ、青少年補導員を子どもたちに知ってもらい、身近な地域の大人として、非行の未然防止や犯罪被害防止に努めていきます。また、年々、活動への参加者が少なくなっており、委嘱の対象や各種パトロールの時間設定など充実した活動が出来るような仕組みを構築していく必要性があります。						

事業番号	92	事業名	子育て世帯に向けた平常時からの防災対策の広報、啓発	担当課	防災課		
重 計画内容	災害時に、子育て世帯が自分たちの身の安全を守るために取り組む「自助」活動として、非常持出品や非常備蓄品、その他防災対策について、市ホームページ、広報誌等の情報媒体や各種イベント等を活用して、平常時からの防災に対する啓発、意識づけを行います。						
	防災対策の広報・啓発	平成25年実績	充実	平成29年目標	充実	平成31年目標	充実
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	市ホームページ、広報(9月1日号)等の情報媒体や、市総合防災訓練等各種イベントにより、平常時からの防災に対する啓発を行いました。また、子どものアニメーションによる防災啓発用DVDを購入し、啓発等を行いました。					
	実績値	防災対策の広報・啓発	充実	予算額	0千円	決算額	
評価	A	防災訓練等各種イベントに加え、子ども向けDVDを購入して、啓発したことで防災に対する啓発意識づけの効果は向上したものと考えます。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	平成27年度に引き続き、市ホームページ、広報等の情報媒体や、市総合防災訓練等各種イベントにおいて「自助」の取り組みの重要性について啓発することを予定しています。また、防災に関する意識づけを確実なものとするため自主防災組織等に防災DVD貸出等の周知を図りたいと考えています。						

(2)子育て家庭を応援する地域づくりの充実

事業番号	93	事業名	子育て・家族支援者養成講座の実施	担当課	こども課		
重 計画内容	20歳以上の市内在住、在勤の方を対象に、市内で活動する子育て・家族支援者として十分な知識と技術を習得するための講座を実施します。また、講座修了後は活躍の場の紹介やバックアップ研修を行い、講座で学んだ知識を生かし地域での実践につなげていけるよう支援します。						
	3級認定者数	平成25年実績	325人	平成29年目標	480人	平成31年目標	560人
	2級認定者数	平成25年実績	128人	平成29年目標	190人	平成31年目標	220人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>市内で活動する子育て・家族支援者として十分な地域と技術を習得する「子育て・家族支援者養成講座」3級、2級を実施しました。また、すでに活動をしている子育て・家族支援者及び子育てケアマネジャーへのバックアップ研修も実施しました。</p> <p>なお、1級講座は平成27年度現在、未実施です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3級講座 平成27年5月～7月実施</li> <li>・2級講座 平成27年9月～11月実施</li> <li>・子育て・家族支援者講座バックアップ研修 年11回実施(うち12月まで8回実施)</li> <li>・子育てケアマネジャーバックアップ研修 年7回実施(うち12月まで4回実施)</li> </ul>					
	実績値	3級認定者数	411人	予算額	8,806千円	決算額	
	評価	A	子育て・家族支援者認定者は着実に増加しており、その認定者は様々な子育て支援活動で活躍をしています。こうした支援活動のフォローアップも研修を通じて行うことができます。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>子育て・家族支援者養成講座は、平成18年度の開始から10年が経過し、地域での子育て支援を担う子育て・家族支援者として幅広い人材を養成をしています。その養成講座で学んだ知識を生かす実践の場として、うらやすファミリー・サポート・センターをはじめ、保育サポーターや市主催事業の託児保育など、市内で幅広い活動を行っており、今後も引き続き子育て支援を担う人材を養成していきます。</p> <p>また、平成27年度から実施の「子育て支援員制度」との整理をするとともに、運用の検討をする必要があります。</p>						
事業番号	94	事業名	地域子育て応援団事業	担当課	こども課		
重 計画内容	子育て・家族支援者養成講座の修了生が活動する子育て支援団体である「お助けねっと・こんぺいとう」及び「おやこの広場・ほこほこ」が公民館・児童センター・自治会集会所で行う子育てサロン活動を支援します。						
	サロン開催場所	平成25年実績	2箇所	平成29年目標	2箇所	平成31年目標	2箇所
	参加者数	平成25年実績	5,000人	平成29年目標	5,000人	平成31年目標	5,000人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>子育て・家族支援者養成講座2級修了生の活動実践の場として、高洲児童センター内交流の広場及び東野児童センターにて子育てサロンを開催しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高洲児童センター 月～金曜日 10時～13時30分</li> <li>・東野児童センター 第1～3週月曜日 10時～13時30分 第1～4週金曜日 10時～16時00分(最終水曜日含む)</li> </ul>					
	実績値	サロン開催場所	2箇所	予算額	6,559千円	決算額	
	評価	A	子育て中の親子の交流・情報交換の場として、また、子育てに関する相談などの場として、子育てサロンが開催され、地域の子育て支援の担い手として、開始当初より活躍することができます。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>児童センターの就学児が訪れない日中(午前中)の時間を活用し、子育て・家族支援者養成講座2級認定者で結成された2団体が、市内2ヶ所の児童センターにおいて、それぞれ子育てサロンを主体的に開催、運営を行い、多くの参加者を迎えています。また、開催日数についても年々拡大を図り、今後も引き続き、多くの市民が参加できる機会と環境を整えていきます。</p>						

事業番号	95	事業名	あかちゃんほっとすてーしょん設置の推進	担当課	こども課		
計画内容	子どもを連れて外出した際に、授乳とおむつ替えができる休憩スペース「あかちゃんほっとすてーしょん」を、公共施設及び事業所などの協力を得て市内店舗などに設置します。						
	設置箇所数	平成25年実績	4箇所	平成29年目標	7箇所	平成31年目標	10箇所
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	授乳とおむつ替えが行える場所の設置について、子育て支援パスポートや子育て支援応援チケットの協賛店などへの周知を図り、次年度以降の設置に向けての取り組みを行っています。 また、平成27年度は、公共施設として、運動公園管理棟に授乳室を設置し、さらに、富岡公民館の大規模改修に併せて授乳室を設置予定です。					
	実績値	設置箇所数	5箇所	予算額	555千円	決算額	
		評価	B	公共施設の授乳室及びおむつ交換場所の設置から行うことを優先し、平成27年度に設置した運動公園管理棟の授乳室までで、全5か所の設置を完了しています。一方、民間事業所への取り組みは、進展していない状況です。			
平成28年度 事業予定と 今後の課題	今後も公共施設を中心に大規模改修時や建設時に授乳室とおむつ交換スペースの設置を進めていく必要があります。また、民間事業所に関しては、今後も授乳室及びおむつ交換スペースの設置を促進するとともに、市民に対して利用可能施設をご紹介し、子育て世帯が気軽に外出ができる環境を整えていきます。 平成28年度は、新庁舎建設に併せて授乳室とおむつ替えスペースの設置をはじめ、運動公園野球場や日の出公民館に設置予定です。						

事業番号	96	事業名	子育て支援パスポート事業	担当課	こども課		
計画内容	市内協賛店舗で割引や付加サービスなどの特典を受けることができる子育て支援パスポート事業を引き続き実施するとともに、協賛店舗の募集を図り、利用範囲の拡大に努めます。また、5年間継続して協賛している店舗を「子育て応援事業所」として表彰します。						
	協賛店舗数	平成25年実績	91店舗	平成29年目標	130店舗	平成31年目標	150店舗
	表彰件数	平成25年実績	—	平成29年目標	70件	平成31年目標	90件
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	平成22年4月1日より子育て支援パスポート事業を開始し、平成27年度は、94店舗の事業所に協賛いただいています。また、新規店舗の募集や継続的に協賛いただいている店舗にサービス内容の更新を行い、平成28年度版子育て支援パスポートガイドブック(冊子・電子書籍)の作成を行っています。さらに、協賛5年を迎えた事業所に対して、3月に表彰式を開催する予定です。					
	実績値	協賛店舗数	94店舗	予算額	1,610千円	決算額	
		表彰件数	51件				
評価	A	毎年、協賛店が増加しており、事業の周知や子育て家庭のパスポートの利用が進んでいます。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	子育て支援パスポート事業については、平成22年度から市独自事業として開始し、年々着実に協賛店舗を増やしており、また、平成25年度からは千葉県「子育て応援！チーパス事業」が開始され、本市では県民対象のチーパスと子育て支援パスポートの2種類を利用することが可能となっています。平成26年度からはパスポートカードを利用できる協賛店舗を掲載したガイドブックを電子書籍化するとともに、協賛5年を経過した事業所に向けた表彰式を開催し、引き続き、協賛店舗拡大や利用促進を図る試みを行います。						

事業番号	97	事業名	子育て応援メッセ実行委員会補助金の交付	担当課	こども課		
重 計画内容	妊娠中の方から未就学児を持つ方を対象に、子育てに関する情報収集や情報交換、地域を越えた交流が行なえる場を提供する子育て応援メッセを開催する実行委員会に運営費補助金を交付します。						
	参加者数	平成25年実績	2,720人	平成29年目標	3,000人	平成31年目標	3,000人
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	妊娠中から未就学児を持つ市民を対象に、子育てに関する情報収集や情報交換、地域を越えた交流などを目的に開催した「子育て応援メッセ」の実行委員会に対し、補助金を交付しました。					
	実績値	参加者数	5,273人	予算額	1,000千円	決算額	
		評価	A	平成27年9月26日(土)に子育て応援メッセが開催され、市で子育て支援活動を行う団体が一堂に集まり、行政機関や民間団体などの情報が収集できる場として、多くの子育て世帯が集まり、好評のうちに終了しました。			
平成28年度 事業予定と 今後の課題	これから出産を迎える方や未就学児を持つ保護者、子育てに関する情報収集や情報交換、地域を越えた交流を行うことができる機会を提供するために、毎年開催している「子育て応援メッセ」の実行委員会に対し、補助金を交付しました。 平成28年度以降も引き続き「子育て応援メッセ実行委員会」に対して、補助金交付を実施する予定です。						

### (3)ワーク・ライフ・バランスの推進

事業番号	98	事業名	企業への男女の平等な待遇等の意識啓発の推進			担当課	商工観光課	
事								
計画内容	職場における男女格差や不平等な慣行を解消するため、セミナーの開催やパンフレットの配布など男女の平等な待遇の意識啓発を行います。							
	パンフレット配布	平成25年実績	実施	平成29年目標	実施	平成31年目標	実施	
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	商工観光課窓口に男女雇用機会均等法に関する関係機関のパンフレット設置やホームページへ掲載するなど、具体的取り組みを援助するための事業について情報提供を行いました。 ●パンフレットの設置・配布:通年 ●広報(ホームページ)への掲載:随時						
	実績値	パンフレット配布	通年	予算額	—	決算額		
	評価	A	職場における男女格差や不平等な慣行を解消するため、ポジティブ・アクションの重要性、手法について企業の理解を深め、女性の能力発揮を促進し、その有効な活用を図るため、雇用管理体制の整備について意識の向上に寄与しています。					
平成28年度 事業予定と 今後の課題	男女の平等な待遇等の意識啓発の推進のため、今後も関係機関と連携し、パンフレットの設置や広報(ホームページ)への掲載など情報提供を実施していくとともに、女性の職場における活躍を推進する「女性活躍推進法」が成立し、平成28年4月1日施行となることから、女性の職場における活躍状況の改善に向け、企業に対し法の周知を図っていきます。							

事業番号	99	事業名	仕事と育児・介護の両立に関する意識啓発の推進	担当課	企画政策課(男女共同参画センター)/商工観光課																							
事	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に向けて、仕事と家庭生活の両立に関する講座の開催や育児・介護休業制度に関するパンフレット配布など情報提供や啓発を行います。																											
計画内容	<table border="1"> <tr> <td>男女)講座等回数</td> <td>平成25年実績</td> <td>5回</td> <td>平成29年目標</td> <td>3回</td> <td>平成31年目標</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>商工)再就職支援セミナー実施回数</td> <td>平成25年実績</td> <td>1回</td> <td>平成29年目標</td> <td>1回</td> <td>平成31年目標</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>商工)パンフレット配布</td> <td>平成25年実績</td> <td>実施</td> <td>平成29年目標</td> <td>実施</td> <td>平成31年目標</td> <td>実施</td> </tr> </table>							男女)講座等回数	平成25年実績	5回	平成29年目標	3回	平成31年目標	3回	商工)再就職支援セミナー実施回数	平成25年実績	1回	平成29年目標	1回	平成31年目標	1回	商工)パンフレット配布	平成25年実績	実施	平成29年目標	実施	平成31年目標	実施
男女)講座等回数	平成25年実績	5回	平成29年目標	3回	平成31年目標	3回																						
商工)再就職支援セミナー実施回数	平成25年実績	1回	平成29年目標	1回	平成31年目標	1回																						
商工)パンフレット配布	平成25年実績	実施	平成29年目標	実施	平成31年目標	実施																						
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>(企画政策課)</p> <p>①男女共同参画センター推進講座「子育てがラクになる女性学講座」の実施 日時:6月12日・19日・26日の3回連続講座(各回午前10時~12時) 参加人数(延べ):32人</p> <p>②インフォメーションカフェの実施 ・「起業準備講座~想いをカタチに」(6月6日、13時30分~16時30分、16人参加) ・「自分らしい生き方~不妊治療とライフプラン」(7月11日、14時~16時、7人参加) ・「ファシリテーター講座~一人ひとりを大切にしたい話しのコツ」(10月3日、13時30分~16時、17人参加)</p> <p>(商工観光課) 関係機関と共催セミナーの開催や、仕事と育児・介護の両立に関する関係機関のパンフレットを商工観光課窓口に設置し、情報提供を行いました。 ●中高齢の再就職支援セミナー及び出張就労相談会 平成27年11月24日(火)実施 セミナー受講者:9名(うち、女性6名)、個別相談件数:2件(うち、女性1名) ●パンフレットの設置・配布:通年 ●広報(ホームページ)への掲載:随時</p>																										
	実績値	男女)講座等回数	6回	予算額	180千円	決算額																						
		商工)再就職支援セミナー実施回数	1回																									
	商工)パンフレット配布	通年																										
	評価	A	<p>(企画政策課) 27年度は、子育てや仕事をテーマに、男女共同参画センター推進講座やインフォメーションカフェを実施しました。特にインフォメーションカフェでは、リプロダクティブヘルス/ライツの啓発として不妊治療をテーマに取り上げ、仕事との両立を含めた内容で講座を開催することができました。</p> <p>(商工観光課) 出産、育児、介護などのやむを得ない理由で退職し、今後再就職を希望する方を対象にしたセミナーの開催やパンフレット配布など情報提供を行うことで、仕事と育児・介護の両立に関する重要性を認識し、意識の向上に寄与しています。</p>																									
平成28年度 事業予定と 今後の課題	<p>(企画政策課) 引き続き、男女共同参画センター推進講座やインフォメーションカフェを開催し、ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発を行います。</p> <p>(商工観光課) 女性にとって働きやすい環境を整備し、仕事と育児・介護の両立支援の普及・啓発を推進するために、今後も関係機関と連携し、情報提供及び必要となる基礎知識等を身につけるためセミナーなど実施していきます。</p>																											

事業番号	100	事業名	女性の職業能力の開発と様々な働き方への支援の実施		担当課	商工観光課	
重 事 計画内容	女性の職業能力を開発し、新しい働き方に対する選択肢を増やすため、女性の再就職支援講座、労働相談、再就職に関する情報提供や相談などを実施します。またパートタイム、派遣労働、SOHO、フリーランスなど様々な働き方に対する支援や労働に関する法制度の普及・啓発を行います。						
	地域職業相談室における女性の相談件数	平成25年実績	7,111件	平成29年目標	7,200件	平成31年目標	7,300件
	労働・社会保険相談開催回数	平成25年実績	24回	平成29年目標	24回	平成31年目標	24回
	創業支援セミナー開催回数	平成25年実績	1回	平成29年目標	2回	平成31年目標	2回
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	<p>就労における男女平等などの推進、女性の再就職や職業能力の開発の支援などを行うため、関係機関と共催でセミナーを開催しました。</p> <p>また、労働・社会保険相談、浦安市地域職業相談室における職業相談等の相談事業のほか、関係機関のパンフレットなどを商工観光課窓口や浦安市地域職業相談室に設置し、さまざまな情報提供を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●労働・社会保険相談：月2回実施</li> <li>●浦安市地域職業相談室：通年</li> <li>●パンフレットの設置・配布：通年</li> <li>●創業支援セミナー</li> </ul> <p>6日間コース実施日：8月25日(火)、9月1日(火)、8日(火)、15日(火)、29日(火)、10月6日(火)</p> <p>セミナー受講者：21名(うち、女性7名)</p> <p>4日間コース実施予定日：1月9日(土)、16日(土)、23日(土)、30日(土)</p> <p>セミナー申込者：45名(うち、女性17名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中高年の再就職支援セミナー及び出張就労相談会</li> </ul> <p>平成27年11月24日(火)実施</p> <p>セミナー受講者：9名(うち、女性6名)、個別相談件数：2件(うち、女性1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●広報(ホームページ)への掲載：随時</li> </ul>					
	実績値	地域職業相談室における女性の相談件数	4245件	予算額	5,144千円	決算額	
		労働・社会保険相談開催回数	18回				
	創業支援セミナー開催回数	1回					
	評価	A	多種多様な就業ニーズを踏まえ各種セミナーの実施により、女性の職業能力を開発し、女性の働き方に対する選択肢を増やす支援に寄与しています。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	今後も関係機関と連携し、セミナーの開催やパンフレットの配布など様々な情報提供を行い、女性の職業能力の開発と自分に合った働き方の支援を推進していきます。						

事業番号	101	事業名	ワーク・ライフ・バランス優良企業表彰制度の検討	担当課	商工観光課		
重 事 計画内容	他の模範となる企業や商店を表彰する優良企業表彰制度を活用して、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を表彰し、その活動を支援する制度を検討します。						
	表彰企業数	平成25年実績	2社	平成29年目標	3社	平成31年目標	3社
平成27年度 実施状況と 評価	実施状況	市内に所在する中小企業を対象とし、経営の合理化、近代化、作業環境、販売・生産技術、新商品の開発、労務(男女共同参画、子育て支援など)等において他の模範となり、市のイメージアップに貢献している企業や商店を表彰しています。 表彰式:平成28年3月28日(月)予定 表彰候補企業:4社予定 ※これまで、ワーク・ライフ・バランスに特化して表彰された企業の表彰実績はありません。					
	実績値	表彰企業数	4社	予算額	139千円	決算額	
	評価	A	市内中小企業を表彰することで、企業の経営意欲を促し、市内企業の活性化、産業の発展及び振興及び市のイメージの向上に寄与しています。				
平成28年度 事業予定と 今後の課題	例年、各関係団体においては、表彰に値する企業及び商店の推薦に苦慮しています。また、これまでワーク・ライフ・バランスに特化し表彰された企業の実績が無いことから、今後は企業からのエントリー(自己推薦)も対象とすることや、表彰式の時期などを含め、企業・商店にとって魅力ある制度となるよう内容の検討を行っていくとともに、ワーク・ライフ・バランスの重要性、手法について理解を深めるよう企業に周知を図っていきます。						